

科目一覧

修学基礎	3
ライフデザインⅠ	5
色彩士検定3級	7
ベーシックデザイン(立体)	8
ベーシックデザイン(デッサン)	9
ベーシックデザイン(色彩)	10
ベーシックデザイン(クロッキー)	11
図法	12
素材加工Ⅰ	13
素材加工Ⅱ	14
海外デザインプログラムⅠ	15
PC入門	16
スペースデザイン入門	17
家具入門	18
雑貨入門	19
セラミック入門	20
ジュエリー入門	21
プレゼンテーションⅠ	22
CAD入門	23
進級制作Ⅰ	24
情報デザイン検定	25
ビジネスマナー／インターンシップ	26
一般構造①	27
構造力学	28
店舗設計	29
建築製図Ⅱ①-a	30
建築製図Ⅱ①-b	31
CADⅠ	32
3DCG演習Ⅰ-b	33
スペースデザイン演習Ⅰ	34
ライフデザイン③	35
ゼミⅠ	36
コンセプトメイキングⅠ	37
建築施工	38
一般構造②	39
建築史	40
スペースデザイン演習Ⅱ	41
建築計画	42
建築製図Ⅱ②-a	43
建築製図Ⅱ②-b	44
プレゼンテーションⅡ	45
パースペクティブ①	46
進級制作Ⅱ①	47
進級制作Ⅱ②	48
ゼミⅡ	49
ライフデザイン④	50
家具演習Ⅰ	51
雑貨演習Ⅰ	52
ジュエリー演習Ⅰ	53
3DCG演習Ⅰ-a	54
ゼミⅠ	55

プロダクト企画Ⅰ	56
プロダクト制作Ⅰ	57
ゼミⅡ	58
進級制作Ⅱ①	59
家具演習Ⅱ	60
雑貨演習Ⅱ	61
ジュエリー演習Ⅱ	62
プロダクト販売Ⅰ	63
プロダクト展示Ⅰ	64
進級制作Ⅱ②	65
進級制作Ⅱ③	66
進級制作Ⅱ④	67
進級制作Ⅱ⑤	68
海外デザインプログラムⅢ	69
スペースデザイン演習Ⅲ	70
卒業制作計画	71
一般構造①	72
構造力学	73
店舗設計	74
建築製図Ⅲ	75
CADⅡ	76
3DCG演習Ⅱ-b	77
コンセプトメイキングⅡ	78
ゼミⅢ	79
ライフデザイン⑤	80
建築施工	81
一般構造②	82
建築史	83
スペースデザイン演習Ⅳ	84
都市計画	85
建築製図Ⅳ	86
プレゼンテーションⅢ	87
パースペクティブ②	88
卒業制作①	89
卒業制作②	90
卒業制作③	91
ゼミⅣ	92
ライフデザイン⑥	93
家具演習Ⅲ	94
雑貨演習Ⅲ	95
ジュエリー演習Ⅲ	96
3DCG演習Ⅱ-a	97
ゼミⅢ	98
プロダクト企画Ⅱ	99
プロダクト制作Ⅱ	100
ゼミⅣ	101
卒業制作①	102
家具演習Ⅳ	103
雑貨演習Ⅳ	104
ジュエリー演習Ⅳ	105
プロダクト販売Ⅱ	106
プロダクト展示Ⅱ	107
卒業制作②	108
卒業制作③	109
卒業制作④	110

卒業制作⑤	111
海外デザインプログラムⅡ	112

修学基礎

分類：知識・教養科目 形態：講義 単位数：2 開講期：通年 科略：IP 学年：1年 コマ数：1 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：—

花田 洋通 重藤 郁

■ 授業内容

自己理解・他者理解を行い、学校生活での目標設定を定めていく。またデザイン思考のプロセスを学ぶ。

■ 到達目標

この授業では学校生活を円滑に送れるようにルールやシステムの理解を促すとともに就職を意識するための第1歩として社会人基礎力の必要性を伝えていくことを目的としている。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	学校行事
2	社会人基礎力について 自己評価チェックシート
3	自己理解について
4	自己理解について
5	デザイン思考の流れ
6	共感 観察 課題の明確化
7	共感 観察 課題の明確化
8	定義 ペルソナ
9	発想 ブレインストーミング
10	発想 スケッチ 絵コンテ
11	表現と発想 グラフィックレコーディング
12	表現と発想 プロトタイプ
13	デザイン思考のまとめ 分析 振り返り
14	デザイン思考のまとめ 分析 振り返り
15	デザイン思考のまとめ 分析 振り返り
16	ビジネス能力検定三級 検定対策講座
17	ビジネス能力検定三級 検定対策講座
18	ビジネス能力検定三級 検定対策講座
19	ビジネス能力検定三級 検定対策講座
20	ビジネス能力検定三級 検定対策講座
21	ビジネス能力検定三級 検定対策講座
22	ビジネス能力検定三級 検定対策講座
23	ビジネス能力検定三級 検定対策講座
24	クリエイティブな仕事への理解
25	クリエイティブな仕事への理解
26	クリエイティブな仕事への理解
27	クリエイティブな仕事への理解
28	企業研究
29	企業研究
30	社会人の収入と支出について

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
20	0	65	0	15	0

■ 使用教材・用具

教科書 筆記用具

ライフデザイン I

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：2 開講期：通年 科略：IP 学年：1年 コマ数：2 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：—

中山 裕志

■ 授業内容

はじめは学校の内容やルールについてのガイダンスをおこなう。5月からはクラスで取り組む活動や個人面談をおこなう。

■ 到達目標

自分と考えの違う他者と協調し、共同活動を成功させるための精神を身につけることができるようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	1年生研修
2	学校生活のためのガイダンス
3	個人面談①
4	個人面談②
5	個人面談③
6	球技大会準備①
7	球技大会準備②
8	球技大会準備③
9	球技大会準備④
10	学校行事
11	球技大会まとめ
12	学園祭準備① 各授業課題対応①
13	学園祭準備② 各授業課題対応②
14	学園祭準備③ 前期試験について
15	学園祭準備④ 夏期休暇中のスケジュールの確認
16	学園祭のまとめ
17	球技大会準備①
18	球技大会準備②
19	球技大会準備③
20	学校行事
21	東京研修旅行対応①
22	東京研修旅行対応②
23	東京研修
24	個人面談④
25	個人面談⑤
26	個人面談⑥
27	冬期休暇中のスケジュールの確認
28	合評会対応①
29	合評会対応②
30	合評会

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
50 %	0 %	30 %	0 %	20 %	0 %

■ 使用教材・用具

必要に応じてプリントを配布します。

■ 履修上の注意

必修科目

色彩士検定3級

分類：基礎科目 形態：講義 単位数：1 開講期：前期 科略：IP 学年：1年 コマ数：1 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

村木 威文 重藤 郁

■ 授業内容

テキスト「Color Master (Basic)」を用い、色について基礎知識を学習し、色彩士検定3級の受験申し込みから受験までを行う。

■ 到達目標

将来就くであろうデザイン業界の仕事の中でその必要性に応じ正確に「色彩」について理解することができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	学校行事
2	オリエンテーション 色のなりたち
3	混色①
4	混色②
5	色の表示方法①
6	色の表示方法②
7	色の知覚的效果①
8	色の知覚的效果②
9	色の心理的效果①
10	色の心理的效果②
11	色の心理的效果③
12	色彩調和
13	模擬試験
14	模擬試験
15	模擬試験の振り返り／まとめ

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	0	40	50	10

■ 使用教材・用具

教科書：カラーマスター (Basic)

その他：色彩士検定3級受験の対策問題集 Vol.4

■ 履修上の注意

色彩士検定3級受験は、卒業時まで必須。検定対策の講義授業のため出席率及び普段の授業態度を重視する。

■ 実務経験概要

企業依頼のデザイン制作において、色彩計画を展開した実績で授業を行う。
(色彩士検定1級取得者)

ベーシックデザイン(立体)

分類：基礎科目 形態：演習 単位数：3 開講期：前期 科略：IP 学年：1年 コマ数：3 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

秋岡 昌彦

■ 授業内容

図面・図法の基本を理解する。頭の中のイメージを平面状で企画し、立体で表現する。

■ 到達目標

頭の中でイメージした作品を、平面でも立体でも表現できる様にする。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	1年生研修
2	オリエンテーション・図面基礎・20面体
3	20面体
4	20面体
5	蛇腹折り①
6	蛇腹折り②
7	蛇腹折り③
8	蛇腹折り④
9	ポップアップカード①
10	ポップアップカード②
11	ポップアップカード③
12	立方体の2分割①
13	立方体の2分割②
14	立方体の2分割③
15	立方体の2分割④

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	100	0	0	0

■ 使用教材・用具

ケントブロック・定規・コンパス・ハサミ・カッターナイフ・筆記用具・色鉛筆・マーカー・木工用接着剤

■ 履修上の注意

全課題の提出が単位取得の条件。

■ 実務経験概要

家具メーカーで製品開発に携る経験を元に授業を実施する。

ベーシックデザイン(デッサン)

分類：基礎科目 形態：演習 単位数：3 開講期：前期 科略：IP 学年：1年 コマ数：3 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

花田 洋通 重藤 郁

■ 授業内容

指定されたモチーフを鉛筆でデッサンする。

■ 到達目標

モチーフの構造を捉え、基本形態が正しく描けるようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	学校行事
2	画材について・鉛筆濃淡によるグラデーション表現
3	デッサン模写
4	基本形態（立方体）
5	基本形態（立方体）
6	基本形態（円柱）
7	基本形態（円柱）
8	果物・野菜
9	学校行事
10	果物・野菜
11	工業製品
12	工業製品
13	複数モチーフ
14	複数モチーフ
15	複数モチーフ まとめ

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	85	0	15	0

■ 使用教材・用具

教科書 鉛筆 練り消し ケント紙 カッターナイフ

■ 実務経験概要

ギャラリーディレクター5年、作家活動20年の経験を活かし、イラスト制作に関連する授業を行う。

ベーシックデザイン(色彩)

分類：基礎科目 形態：演習 単位数：2 開講期：前期 科略：IP 学年：1年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：—

河本 恵美

■ 授業内容

テキストを用いて各単元ごとに知識を身につけていくとともに一単元課題で理解を深める

■ 到達目標

色彩は検定3級合格レベルの基礎知識を習得し、手作業による完成度の高い作品を制作する

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	学校行事
2	自己紹介のための自由な色彩表現
3	色の本質
4	表色系
5	色立体
6	p.c.c.s トーン
7	混色（加法混色と減法混色）
8	色の視覚効果・視認性
9	色名
10	色の対比・同化
11	色彩心理
12	色出し
13	配色調和
14	配色調和
15	配色調和

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	95	0	5	0

■ 使用教材・用具

アクリルガッシュ・配色カード・色鉛筆等・黒ペン（マッキー PIGMA 等）

■ 履修上の注意

課題の内容を文章で充分理解を深め、締め切りを守って作品を全て提出する

ベーシックデザイン(クロッキー)

分類：基礎科目 形態：演習 単位数：2 開講期：前期 科略：IP 学年：1年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

大橋 裕子

■ 授業内容

1回5分～15分程度でクロッキーを重ねていく。対象物をよく観察し、重心・バランス・骨格等をとらえた表現について学ぶ。人物の場合は相互モデルで行う。野外の場合は風景や植物を対象とする。

■ 到達目標

短時間でとらえた対象物のイメージを、生き生きとした線で表現できるようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	クロッキーとは 鉛筆での表現について
2	立ちポーズ 全身プロポーション
3	立ちポーズ 顔の比率
4	立ちポーズ アイテム
5	立ちポーズ アイテム
6	座りポーズ
7	座りポーズ
8	座りポーズ
9	野外クロッキー
10	野外クロッキー
11	着彩クロッキー
12	着彩クロッキー
13	群像 複数人数
14	群像 複数人数
15	群像 複数人数

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	85	0	15	0

■ 使用教材・用具

クロッキー帳、鉛筆、消しゴム、カッターナイフ、水彩絵の具

■ 履修上の注意

必要な画材を忘れずに持参すること。制作に丁寧に向き合うこと。

■ 実務経験概要

数十年にわたる作家活動やデッサンのキャリアを活かし、基礎勉強を通してイラスト制作等に応用できる表現力を養う。

図法

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：前期 科略：IP 学年：1年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

内田 里美

■ 授業内容

製図道具として不可欠な三角スケールを使い。図面の作図演習・スケール感を結びつける。

■ 到達目標

頭で描いている作品を第三者に伝えられる様にする。イメージした立体を作図によって第三者に伝える事ができ、縮尺のある図面をスケールをもって描けるようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明および製図道具の使い方について
2	線の演習
3	文字の演習
4	正投影図の理解
5	等角図・不等角図・キャビネット図・展開図の理解
6	等角図の演習・立体図の作図
7	不等角図の演習・展開図の作図
8	三角スケールを使用した縮尺の理解
9	寸法の記入について
10	縮尺 1/100 での図面作成
11	縮尺 1/50 での図面作成
12	課題①
13	課題②
14	課題③
15	課題提出

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	20	0

■ 使用教材・用具

ノートパソコン

■ 実務経験概要

岡山県内の企業にて住宅に関わる設計・打ち合わせ等の経験を活かします。

素材加工 I

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：前期 科略：IP 学年：1年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

村上 愛

■ 授業内容

加工方法の説明→デザイン・設計→作品制作→文章と口答でのプレゼンテーションを繰り返す行う。

■ 到達目標

樹脂板の切断・曲げ・研磨、スタイロフォームによる成形、木材の手工具による成形を素材の特性を活かして出来るようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	1年生研修
2	課題Ⅰ-①「アクリル板を使った置き時計の制作」
3	Ⅰ-② 切断、曲げ加工
4	Ⅰ-③ サンドブラスト加工、接着、研磨
5	Ⅰ-④ 断面磨き
6	Ⅰ-⑤ 仕上げ、器具取り付け、合評
7	課題Ⅱ-①「カッターナイフグリップの制作」
8	Ⅱ-② モックアップ制作（スタイロフォーム加工）
9	Ⅱ-③ モックアップ制作（スタイロフォーム加工）、図面
10	Ⅱ-④ 本制作（MDF 木材加工）、MDF 貼り合わせ
11	Ⅱ-⑤ 本制作（MDF 木材加工）
12	Ⅱ-⑥ 本制作（MDF 木材加工）
13	Ⅱ-⑦ 仕上げ、下塗り塗装
14	Ⅱ-⑧ 下塗り塗装、本塗装
15	Ⅱ-⑨ 組み立て、合評

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	20	0

■ 履修上の注意

作業を伴う授業内容です。安全に活動できる服装で臨むこと。

■ 実務経験概要

店舗ディスプレイ、商品企画のデザインの仕事を 13 年経験。作家として県内外での展示会やワークショップの出展経験がある。

素材加工Ⅱ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：前期 科略：IP 学年：1年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

中山 裕志

■ 授業内容

スタイロフォーム、バルサ材、スチレンボード等の素材を使ってインテリア模型を制作する。

■ 到達目標

イメージしたカタチ（空間）を短期間で組立てることができるようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明
2	課題①「スタイロフォームを使った幾何学形態」の制作
3	課題②「スタイロフォームを使った球」の制作
4	課題③「バルサ材を使った椅子」の制作①
5	「バルサ材を使った椅子」の制作②
6	課題④「スチレンボードを使ったマイルーム」の制作について
7	平面図の検討
8	インテリアエレメントの検討
9	立面図の検討
10	エクステリアの検討
11	「スチレンボードを使ったマイルーム」の制作①
12	「スチレンボードを使ったマイルーム」の制作②
13	「スチレンボードを使ったマイルーム」の制作③
14	「スチレンボードを使ったマイルーム」の制作④
15	プレゼンテーション→提出

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0 %	20 %	60 %	0 %	20 %	0 %

■ 使用教材・用具

カッターナイフ、カッターマット、定規（金尺、三角スケール）等

■ 実務経験概要

建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験

海外デザインプログラム I

分類：知識・教養科目 形態：講義 単位数：0.5 開講期：2期 科略：IP 学年：1年 コマ数：1 企業連携：
— 実務経験のある教員による授業科目：—

長船 圭二

■ 授業内容

1年次では西洋文化を理論的に学習します。様々なジャンルを知ることで、複合的に知識を高めていきます。また後半ではグループワークを通じてテーマ研究をおこない、グループ発表をおこないます。

■ 到達目標

西洋服装・美術・建築の文化や歴史の基礎知識を習得する。また、滞在地の観光エリアや美術館の知識を身につけ、グループ活動を適切におこなう計画力を養います。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	学校行事
2	西洋文化について.1（西洋美術史）
3	西洋文化について.2（西洋服装史）
4	西洋文化について.3（西洋文化・建築）
5	西洋文化グループ研究.1（グループ別 研究テーマ）
6	西洋文化グループ研究.2（グループ別 研究テーマ）
7	西洋文化グループ研究.3（グループ別 研究テーマ発表）

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
50	50	0	0	0	0

■ 使用教材・用具

ノート PC（インターネットを利用して、情報収集および資料制作をおこないます）

PC入門

分類：専門科目 形態：演習 単位数：1 開講期：2期 科略：IP 学年：1年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

藤原 敏嗣

■ 授業内容

Adobe Illustrator・Photoshop の基本操作の実習

■ 到達目標

デザインアプリケーション（Illustrator・Photoshop）の基本操作方法の習得

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	オリエンテーション・環境設定
2	Illustrator・Photoshop の基本操作
3	↓
4	↓
5	↓
6	↓
7	↓ 習得度確認テスト

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	25	25	50	0

■ 使用教材・用具

指定テキスト

各自のラップトップ（マウス含む）

■ 履修上の注意

初回授業までに Adobe Illustrator・Photoshop をインストールし使用できる状態にしておくこと

マウス必須・電源アダプター等は必ず持参すること

■ 実務経験概要

インテリア雑貨の企画デザイン・広告・ウェブデザインなど 20 年以上の国内外ブランドのデザイン実績と自社雑貨ブランドの展開

スペースデザイン入門

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：後期 科略：IP 学年：1年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

■ 授業内容

空間を第三者へ伝える表現方法としての建築模型の技法を学ぶ。

■ 到達目標

基本的な図面の理解に加え、実際に存在する空間を図面から模型へと立体化する力を養うとともに、第三者へ「見せる」ための工夫ができるようになることを目標とする。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明（模型を制作する上でのポイントについて）
2	模型を制作するための工具と材料について
3	課題1：指定する建物の図面を読み、模型を制作する
4	制作①
5	制作②
6	制作③
7	制作④
8	模型の撮影
9	課題2：各自で選定した建物の資料（図面）を収集し、模型を制作する
10	制作①
11	制作②
12	制作③
13	制作④
14	模型の撮影
15	課題提出

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	20	0

■ 履修上の注意

2級建築士受験に関わる指定科目

■ 実務経験概要

建築事務所勤務その後一級建築士事務所主宰。設計活動を30年行っている。

家具入門

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：後期 科略：IP 学年：1年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

秋岡 昌彦

■ 授業内容

家具を作る上で主要な素材となる木材の加工法の基礎を身につけます。講義を交えて実際に手を動かして小物を作る事で素材や用具に対する理解を深めます。

■ 到達目標

- ・木材の物性を理解する。
- ・手工具を用いての加工方法の基礎を身に付ける。
- ・機械を用いての加工方法の基礎を身に付ける。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	オリエンテーション 木材について
2	課題1「グループ制作課題」製材
3	スミ付け
4	部品加工
5	部品加工
6	仮組み、本組み
7	塗装
8	課題2「箱」 アイデアスケッチ
9	作図、材料選定
10	製材（製材機械の使い方と手順）
11	部品加工（丸ノコ盤の使い方）
12	部品加工 箱体組み立て
13	部品加工 蓋制作（板はぎの方法）
14	蓋取り付け、木地調整
15	塗装、テスト

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	90	10	0	0

■ 使用教材・用具

- ・クロッキー帳

■ 履修上の注意

粉塵、危険を伴う作業をします。安全な服装で授業に臨むこと。

■ 実務経験概要

家具メーカーで製品開発に携る経験も元に授業を実施する。

雑貨入門

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：後期 科略：IP 学年：1年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

藤原 敏嗣

■ 授業内容

プロッターでのカッティングシールの製作
3 D プリンターを使用してのシリコン用モールド（型枠）の製作

■ 到達目標

デザインデータの製作と各種機器との連携方法、素材の種類や特性・基本的な加工方法等を知り、習得する。
プロッター・3 D プリンター等の機器の操作方法の習得

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	オリエンテーション
2	プロッターでのカッティングシールの製作
3	↓
4	↓
5	モデリングソフトインストール 3 D プリンター基本操作
6	モデリングデザイン
7	↓
8	↓
9	↓
10	3 D プリンターでのモデル出力
11	↓
12	シリコン成型・ベース成型
13	↓
14	↓
15	↓

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	50	0	50	0

■ 使用教材・用具

カッティングプロッター・3 D プリンター・成型用シリコン
各自のノート PC（マウス必携）

■ 実務経験概要

インテリア雑貨の企画デザイン・広告・ウェブデザインなど 20 年以上の国内外ブランドのデザイン実績と自社雑貨ブランドの展開

セラミック入門

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：後期 科略：IP 学年：1年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

矢加部 徳公

■ 授業内容

アイディアスケッチ、成形、焼成などの各行程を知ること、土が作品に変化していく様子がわかります。たまづくりでお碗、たたらづくりでカップ&ソーサー、くりぬきでふたものを制作します。

■ 到達目標

イメージから作品化完成までのプロセスをたどることができる。基礎力を身につけてセラミックでの表現をおこなうことができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	オリエンテーション 粘土の再生
2	たまづくり 1 お碗を考える
3	たまづくり 2 成形
4	たまづくり 3 削り
5	たたらづくり 1 カップ&ソーサーを考える
6	たたらづくり 2 成形
7	たたらづくり 3 成形、加飾
8	たたらづくり 3 成形、加飾
9	くりぬき 1 ふたものを考える
10	くりぬき 2 成形
11	くりぬき 3 削り
12	窯詰め 素焼き
13	施釉 窯詰め 本焼き
14	施釉 窯詰め 本焼き
15	講評 プレゼンテーション

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	10	60	0	10	20

■ 使用教材・用具

スケッチブック 筆記用具

■ 履修上の注意

汚れてもよい格好が望ましい。

■ 実務経験概要

陶芸家としてのキャリアをベースに指導をしていく。

ジュエリー入門

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：後期 科略：IP 学年：1年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

武田 新

■ 授業内容

作品を作りながら、工具の使用法・基本技術を身につける。

■ 到達目標

金属特有の性質・加工法などを理解し、身近な素材として活用できるようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業についての説明、安全作業など
2	金属の切断方法・種類
3	糸鋸の使用法
4	整形・仕上げ方法
5	整形・仕上げ方法
6	銀の接合方法・種類
7	銀ロウについて
8	バーナー（ブローパイプ）の使い方
9	熱処理・酸洗いについて
10	エッチング作品制作
11	延展性・加工酸化について
12	延展性・加工酸化について
13	銀平打ちリング制作
14	サイズ取りの方法、スリ合せ、ロウ接温度
15	まとめ

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	60	0	10	30

■ 履修上の注意

個人工具を用意してもらいます。（注文受付して一括購入）

■ 実務経験概要

彫刻・ジュエリー作家。文化財修復・復元の経験もあり、工房ショップを経営。

プレゼンテーション I

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：後期 科略：IP 学年：1年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

村上 愛

■ 授業内容

進級制作と連動して、作品イメージを伝える為の、プレゼンボードを PC を使って制作します。

■ 到達目標

作品のイメージを第三者に効果的に伝えることができるようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明
2	Illustrator テクニック
3	//
4	//
5	Photoshop テクニック
6	//
7	//
8	印刷入稿データテクニック
9	プレゼンボードデータ制作
10	//
11	//
12	//
13	プレゼンボード完成
14	プレゼンボードデータ最終チェック データ入稿
15	合評会準備

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	20	40	0	40	0

■ 使用教材・用具

パソコン

Illustrator & Photoshop 操作とデザインの教科書

■ 実務経験概要

店舗ディスプレイ、商品企画のデザインの仕事を 13 年経験。作家として県内外での展示会やワークショップの出展経験がある。

CAD入門

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：後期 科略：IP 学年：1年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

内田 里美

■ 授業内容

最初は簡単な線から始まり複雑なものをかいていく。最終的には自分の作品を CAD で起こせるようにする。

■ 到達目標

CAD を使うことで自分の作成したい作品をより多くの方に説明出来る様にする。図面を描く事によって納まりなどについて頭の中で考えるよりもっと具体的に考えられるようになる。いろいろあるコマンドの習得と自分の作りたいものを図面におこせるようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業内容説明・CAD インストール
2	演習 コマンドの説明①
3	演習 コマンドの説明②
4	演習 プロダクト①
5	演習 プロダクト①
6	演習 プロダクト②
7	演習 プロダクト②
8	演習 プロダクト③
9	演習 プロダクト③
10	演習 プロダクト④
11	演習 プロダクト④
12	演習 空間①
13	演習 空間②
14	演習 空間③
15	出力・課題提出

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	20	0

■ 使用教材・用具

ノートパソコン

■ 履修上の注意

毎回パソコンを使用する。

■ 実務経験概要

岡山県内の企業にて住宅に関わる設計・打ち合わせ等の経験を活かします。

進級制作 I

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：2 開講期：後期 科略：IP 学年：1年 コマ数：4 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

藤原 敏嗣

■ 授業内容

進級課題のデザインプランの作成、設計図面の作成、試作・本製作

■ 到達目標

デザインプランから設計・試作を行い、問題点や改善点を発見し改良して進級課題の作品を完成させる

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	オリエンテーション・進級製作課題の説明
2	進級課題製作
3	↓
4	↓
5	↓
6	↓
7	↓
8	↓
9	↓
10	↓
11	↓
12	↓
13	↓
14	↓
15	合評会にて、各自作品のプレゼンテーションと展示発表を行う

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	10	50	0	40	0

■ 実務経験概要

インテリア雑貨の企画デザイン・広告・ウェブデザインなど 20 年以上の国内外ブランドのデザイン実績と自社雑貨ブランドの展開

情報デザイン検定

分類：知識・教養科目 形態：講義 単位数：0.5 開講期：1期 科略：IP 学年：2年 コマ数：1 企業連携：
— 実務経験のある教員による授業科目：○

村木 威文

■ 授業内容

情報デザインの5つのカテゴリーである、「考え方」「分析力」「論理力」「表現力」「提案力」について「J 検情報デザイン完全対策公式テキスト（JMAMA）」を教科書として学習し、練習課題や過去問題を行うことで、学習効果を確認する。

■ 到達目標

情報を的確に扱い、正確に第三者に伝えるための知識と技術を身に付けることができ、検定に合格することでその裏付けを得ることができるようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	オリエンテーション／情報デザイン／情報とモラル
2	働きかけ力／調査の考え方
3	調査方法／分析と整理
4	問題解決の考え方／問題解決手法
5	情報構造の考え方／情報表現の手法
6	情報の伝達
7	評価とフィードバック 模擬試験（検定対策1）
8	模擬試験（検定対策2）／まとめ

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	0	40	50	10

■ 使用教材・用具

- ・改訂版 J 検情報デザイン完全対策公式テキスト
- ・筆記用具／付箋（50mm x 50mm 程度のサイズのもの）

■ 履修上の注意

あらゆる分野の「デザイン」の基礎力を問う検定の対策講座。検定受験は必須ではない。

■ 実務経験概要

J 検情報デザイン試験の作問と公式テキストの執筆を行った経験をもとに授業を展開する。

ビジネスマナー／インターンシップ

分類：知識・教養科目 形態：講義 単位数：1 開講期：前期 科略：IP 学年：2年 コマ数：1 企業連携：
○ 実務経験のある教員による授業科目：—

中山 裕志

■ 授業内容

業種リサーチ、企業リサーチを通じ、自分の興味のある業種、企業を知り、企業への1～2週間程度の実習を行う。

■ 到達目標

3年次の就職活動において、実習先においての経験から自分に合った職種を見極めることができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	企業実習制度を知る
2	企業リサーチ①
3	企業リサーチ②
4	名刺、自己紹介シート作成①
5	名刺、自己紹介シート作成②
6	履歴書作成①
7	履歴書作成②
8	夏期インターンシップ受け入れ企業について
9	ファイル作成①
10	ファイル作成②
11	ファイル作成③
12	ポートフォリオ作成①
13	ポートフォリオ作成②
14	ポートフォリオ作成③
15	事前訪問に向けての直前指導

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0％	0％	80％	0％	20％	0％

■ 使用教材・用具

必要に応じてプリントを配布します。

■ 履修上の注意

必修科目

一般構造①

分類：専門科目 形態：講義 単位数：2 開講期：前期 科略：IP 学年：2年 コマ数：2 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

■ 授業内容

木構造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造等の構造種別ごとに、その特性・仕上げ・造作等の建築全般の基礎的なことを学ぶ。

■ 到達目標

木構造全般を基礎から床組・軸組・小屋組・2×4工法・大断面工法等についての理解を深めることを目標とする。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明（木構造概要）
2	建築構造の外観
3	建築工法の変遷と分類
4	建築材料による分類と留意点
5	木構造の特徴
6	木構造の形式
7	木材について
8	軸組工法
9	基礎軸組
10	床組
11	小屋組
12	階段
13	枠組み壁工法
14	大断面集成材
15	まとめ

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	20	0

■ 履修上の注意

2級建築士受験に関わる指定科目

■ 実務経験概要

建設会社6年の経歴を生かし、一般構造①に関する授業を行います。

構造力学

分類：専門科目 形態：講義 単位数：2 開講期：前期 科略：IP 学年：2年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

中山 裕志

■ 授業内容

建築の骨組みとこれに作用する荷重ならびに構造物における力の釣り合いと構造物の安定について理解し、単純梁・片持梁・静定ラーメン・静定トラスなどに荷重が作用するときの各部応力について学ぶ。

■ 到達目標

構造物に作用する基礎的な力の問題を科学的に考え理解し、力学的な考察力・判断力・直感力を養うことを目指し、構造物の安全性の基礎能力を身に付けるとともに「構造のデザイン」に対する感覚や発展的な独創力を養うことを目標とする。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明（構造力学・構造設計概要）
2	力とモーメント
3	力の合成と分解
4	構造物と荷重
5	力の釣り合い、安定・静定
6	反力の求め方①（単純梁・片持梁）
7	反力の求め方②（静定ラーメン・3ヒンジ系ラーメン・トラス）
8	応力の種類・求め方①（単純梁・片持梁）
9	応力の求め方②（ラーメン）
10	静定トラスの応力①（接点法）
11	静定トラスの応力②（切断法）
12	断面の性質①（断面一次・断面二次モーメント）
13	断面の性質②（断面係数・断面二次半径）
14	応力度と許容応力度、座屈①
15	応力度と許容応力度、座屈②

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0 %	0 %	0 %	80 %	20 %	0 %

■ 使用教材・用具

必要に応じてプリントを配布します。

■ 履修上の注意

2級建築士受験に関わる指定科目 必修科目 隔年開講

■ 実務経験概要

建築設計事務所にて5年間の設計業務経験

店舗設計

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：前期 科略：IP 学年：2年 コマ数：2 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

香山 安武

■ 授業内容

計画演習を通し、体感をもって空間を構成していく。

■ 到達目標

内装から家具・照明など、店舗空間を総合的にイメージ・設計できるようになること。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明
2	設計の組み立てとプランの進め方について
3	実習①（既存図面トレース）
4	実習②（平面プラン計画）
5	実習③（平面・天井伏チェック）
6	実習④（平面プラン仕上げ）
7	実習⑤（立面プラン作成）
8	実習⑥（天井・照明・仕上げ作成）
9	実習⑦（家具図および部分詳細図作成）
10	実習⑧（スケッチパース作成）
11	実習⑨（スケッチパース仕上げ）
12	実習⑩（プレゼンテーション作成）
13	実習⑪（プレゼンテーション作成）
14	実習⑫（プレゼンテーション仕上げ）
15	実習⑬（プレゼンテーション仕上げ）

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	20	0

■ 使用教材・用具

- ・ 文具一式
- ・ 色鉛筆、マーカー等色付け具
- ・ CAD 入りパソコン

■ 履修上の注意

課外授業（実例の見学等）を行うことがあります。

■ 実務経験概要

アトリエ系設計事務所にて7年住宅設計・店舗設計に携わり独立して7年設計事務所として活動しています

建築製図Ⅱ①－a

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：前期 科略：IP 学年：2年 コマ数：2 企業連携：－ 実務経験のある教員による授業科目：○

中山 裕志

■ 授業内容

木造平屋建の図面のトレースによって各図面を理解するとともに、建築的条件のもと、身近な住宅を自らプランニングしたものを、各図面で表現する。

■ 到達目標

各図面の「読み方」「描き方」をトレース、設計製図演習によって理解し、自らが設計した空間の「考え方」を図面または言語で第三者へ伝えることができるプレゼンテーション能力を習得することを目標とする。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明（製図の基本①）
2	配置図トレース
3	平面図トレース
4	立面図トレース
5	断面図トレース
6	矩計図トレース
7	設計製図（平面図エスキース）
8	設計製図（平面図作図）
9	設計製図（立・断面図エスキース①）
10	設計製図（立・断面図エスキース②）
11	設計製図（立・断面図作図①）
12	設計製図（立・断面図作図②）
13	設計製図（配置図作図）
14	設計製図（矩計図作図）
15	図面提出

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %

■ 使用教材・用具

平行定規、勾配定規、三角スケール、シャープペンシルなど

■ 履修上の注意

2 級建築士受験に関わる指定科目 必修科目

■ 実務経験概要

建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験

建築製図Ⅱ①ーb

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：前期 科略：IP 学年：2年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

■ 授業内容

木造平屋建の図面のトレースによって各図面を理解するとともに、建築的条件のもと、身近な住宅を自らプランニングしたものを、各図面で表現する。

■ 到達目標

各図面の「読み方」「描き方」をトレース、設計製図演習によって理解し、自らが設計した空間の「考え方」を図面または言語で第三者へ伝えることができるプレゼンテーション能力を習得することを目標とする。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明（製図の基本②）
2	基礎伏・床伏図トレース
3	小屋伏・天井伏図トレース
4	軸組図トレース
5	展開図トレース
6	部分詳細図トレース
7	設計製図（基礎伏・床伏図エスキース）
8	設計製図（基礎伏・床伏図作図）
9	設計製図（小屋伏・天井伏図エスキース）
10	設計製図（小屋伏・天井伏図作図）
11	設計製図（軸組図エスキース）
12	設計製図（軸組図作図）
13	設計製図（展開図作図）
14	設計製図（部分詳細図作図）
15	図面提出

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	20	0

■ 履修上の注意

2級建築士受験に関わる指定科目

■ 実務経験概要

アトリエ系建築設計事務所勤務の後一級建築士事務所主宰。住宅を中心に設計活動。

CAD I

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：前期 科略：IP 学年：2年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

■ 授業内容

モノをデザインする上で図面を描くことはとても重要な作業であり、プレゼンテーションを行う上での表現方法を広げることにもつながる。現在その図面を描く作業は CAD で行われることが多く、その CAD ソフトの基本操作を習得する。

■ 到達目標

CAD の基本操作を習得し、簡単な木造住宅を題材に図面を描くことにより、CAD 独特の製図手法に慣れることを目標とする。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明
2	基本操作解説（コマンドメニュー・図形属性・レイヤ・図面属性）
3	図面枠の作成（用紙・縮尺の設定、スナップ・ファイルの操作）
4	木造住宅平面図の作成①（グリッド機能の説明）
5	木造住宅立面図の作成①（平面図の利用）
6	木造住宅平面図の作成②（四角・2線/編集コマンドの利用）
7	木造住宅立面図の作成②（グループレイヤと縮尺）
8	木造住宅平面図の作成③（建具部品の活用）
9	木造住宅立面図の作成③（レイヤ利用の編集）
10	木造住宅平面図の作成④（ハッチング・分割・曲線コマンド）
11	木造住宅立面図の作成④（手描き線の編集）
12	木造住宅平面図の作成⑤（寸法・室名の記入）
13	木造住宅立面図の作成⑤（寸法と図形の記入）
14	出力実習
15	課題提出

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	20	0

■ 履修上の注意

2級建築士受験に関わる指定科目

■ 実務経験概要

岡山県内の企業にて住宅に関わる設計・打ち合わせ等の経験を活かします。

3DCG演習 I - b

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：前期 科略：IP 学年：2年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

丹羽 雅人

■ 授業内容

ARCHICAD の操作実習と過去の名建築の図面をトレースすることで活用法を理解する。

■ 到達目標

・ ARCHICAD の習得を通して、3D CAD をマスターし、BIM の概念について理解する。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	・ ARCHICAD の操作を習得して今後の製図に活かす。
2	オリエンテーション ソフトのダウンロード等 BIM でできること（講義）
3	Archicad とガイドラインの概要
4	1F モデルを作成（1）
5	1F モデルを作成（2）
6	各階の作成とモデルの仕上げ（1）
7	各階の作成とモデルの仕上げ（2）
8	各階の作成とモデルの仕上げ（3）
9	モデルから図面へ
10	名作住宅のトレースと3Dモデルの作成（1）
11	名作住宅のトレースと3Dモデルの作成（2）
12	名作住宅のトレースと3Dモデルの作成（3）
13	名作住宅のトレースと3Dモデルの作成（4）
14	名作住宅のトレースと3Dモデルの作成（5）
15	名作住宅のトレースと3Dモデルの作成（6）

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	50	0	50	0

■ 使用教材・用具

Archicad 26ではじめる BIM 設計入門（企画設計編）

■ 履修上の注意

前半は教科書を使用して説明を行うので、必ず教科書を忘れないこと。

■ 実務経験概要

建築設計の実務を20年以上行っている経験を生かして授業を行う。

スペースデザイン演習 I

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：前期 科略：IP 学年：2年 コマ数：2 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

山本 治彦

■ 授業内容

瀬戸内海に面した南向きの穏やかな傾斜地で床面積 50 平方メートル程度の別荘の設計をしてもらいたいと思います。

■ 到達目標

確かな空間のイメージができているか。総合的に建築言語が使えるか。そして楽しんで計画ができているか。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	どんな場所にするか決定する
2	資料集め
3	エスキース（必要な面積の設定）
4	エスキース
5	↓
6	↓
7	エスキースの決定
8	作図
9	↓
10	↓
11	↓
12	完成予想図 or 模型製作
13	↓
14	↓
15	講評会

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	30 %	50 %	0	20 %	0

■ 使用教材・用具

製図用具・模型製作用具・絵具 etc

■ 履修上の注意

ひとりの一日の暮らしが最低限出来る事を目指し考えてください。（少しの特殊性は許したいと思います）

■ 実務経験概要

【実務経験概要】建築設計事務所勤務その後一級建築士事務所主宰。設計活動を 30 年行う。

ライフデザイン③

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1 開講期：前期 科略：IP 学年：2年 コマ数：2 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：—

秋岡 昌彦

■ 授業内容

担任やクラスメイトとの情報交換、面談を通じて、各自の目標に向かった学生生活を送れるよう計画、振り返りをする。

■ 到達目標

企画力、計画性、協調性、グループワーク能力を高め、社会に適応する力を身につける。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明
2	個人面談①ポートフォリオ制作①
3	個人面談②ポートフォリオ制作②
4	個人面談③ポートフォリオ制作③
5	個人面談④ポートフォリオ制作④
6	個人面談⑤ポートフォリオ制作⑤
7	デザインフェスタ対応①
8	デザインフェスタ対応②
9	球技大会準備
10	学校行事
11	デザインフェスタ対応③
12	進級制作中間報告会準備①
13	進級制作中間報告会準備②
14	インターンシップ準備など
15	夏期休暇についての直前指導

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
60	0	20	0	20	0

■ 履修上の注意

学生生活に関する連絡、行事の準備活動、進路に関することを本授業にておこなう。

ゼミ I

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1.5 開講期：前期 科略：IP 学年：2年 コマ数：3 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：○

中山 裕志

■ 授業内容

コンペへの応募、課題制作、展覧会の見学、技術や素材、インテリア・建築デザインに関する実践研究などをおこなう。

■ 到達目標

インテリア・建築の計画、法規、施工、構造について知的好奇心を働かせ、吸収しようとする姿勢を身につける。課題発見力、情報収集力、空間表現、人に伝えるために情報を整理する力などを総合的に身につける。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明
2	課題「私の好きな住宅-その解釈」の課題内容説明
3	題材とする住宅の選定
4	制作①
5	制作②
6	制作③
7	制作④
8	制作⑤→課題提出（プレゼンテーション）
9	ワンデーエクササイズ概要について
10	学校行事
11	フィールドワーク①
12	フィールドワーク②
13	ワンデーエクササイズグループディスカッション①
14	ワンデーエクササイズグループディスカッション②
15	ワンデーエクササイズグループディスカッション③

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
20 %	20 %	40 %	0 %	20 %	0 %

■ 使用教材・用具

必要に応じてプリントを配布します。

■ 履修上の注意

必修科目

■ 実務経験概要

建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験

コンセプトメイキングⅠ

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1 開講期：前期 科略：IP 学年：2年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

秋岡 昌彦

■ 授業内容

グループでのコンセプト立案や、個人でのコンセプト立案をおこない、それぞれ発表する。

■ 到達目標

目的にあったコンセプトの作成ができるようになる。企画を実現させるために説得力のある説明ができるようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	コンセプトとは？
2	個人演習課題①
3	グループ演習①
4	グループ演習②
5	グループ演習③
6	進級制作コンセプトシート配布、作成
7	進級制作スケジュール表配布、作成
8	進級制作コンセプトシート、スケジュール表提出
9	制作内容確認①
10	制作内容確認②
11	中間報告会用コンセプトシート配布
12	中間報告会準備① 中間報告会用コンセプトシート提出
13	中間報告会準備②
14	中間報告会準備③
15	まとめ

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
20	20	60	0	0	0

■ 履修上の注意

提出締切に遅れないように、計画的に課題を作成すること。

■ 実務経験概要

家具の企画に携った 23 年間の経験に基づき企画立案方法を教える。

建築施工

分類：専門科目 形態：講義 単位数：2 開講期：後期 科略：IP 学年：2年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

■ 授業内容

幅広い分野である施工の中で、施工の一連の流れを把握するとともに、各工法についての基礎的な用語や手順等を学ぶ。

■ 到達目標

建築物の施工計画のたて方から各工事の施工手順および建築各教科との関連性や現場技術者としての基礎的な知識の習得を目標とする。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明（建築施工概要）
2	施工計画と仮設工事
3	土工事・地業工事・基礎工事
4	鉄筋工事
5	型枠工事
6	コンクリート工事
7	木工事
8	鉄骨工事
9	組積工事
10	建具工事・ガラス工事
11	防水工事・左官工事
12	タイル工事・石工事
13	内装工事・断熱工事
14	施工管理
15	まとめ

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	0	80	20	0

■ 履修上の注意

2級建築士受験に関わる指定科目

■ 実務経験概要

1996 年より設計事務所勤務を経て、現在丹羽設計事務所代表取締役。

一般構造②

分類：専門科目 形態：講義 単位数：2 開講期：後期 科略：IP 学年：2年 コマ数：2 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

■ 授業内容

木構造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造等の構造種別ごとに、その特性・仕上げ・造作等の建築全般の基礎的なことを学ぶ。

■ 到達目標

鉄筋コンクリート構造・鉄骨構造・補強コンクリート構造等の特性原理についての理解を深めることを目標とする。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明（鉄筋コンクリート構造・鉄骨造概要）
2	鉄筋コンクリート構造①（配筋について）
3	鉄筋コンクリート構造②（基礎について）
4	鉄筋コンクリート構造③（主体について）
5	鉄筋コンクリート構造④（スラブ・階段について）
6	鉄筋コンクリート構造⑤（壁について）
7	鉄骨構造①（構造形式について）
8	鉄骨構造②（鋼材について）
9	鉄骨構造③（接合方法について）
10	鉄骨構造④（骨組について）
11	鉄骨構造⑤（床組・階段について）
12	鉄骨構造⑥（柱脚・基礎について）
13	仕上げ工事①（外部について）
14	仕上げ工事②（内部について）
15	まとめ

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	0	80	20	0

■ 履修上の注意

2級建築士受験に関わる指定科目

■ 実務経験概要

建設会社6年の経歴を生かし、一般構造①に関する授業を行います。

建築史

分類：専門科目 形態：講義 単位数：2 開講期：後期 科略：IP 学年：2年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

■ 授業内容

西洋建築を主体にしながら日本建築の主要作品を紹介し、都市や建築、インテリアの歴史について学習する。

■ 到達目標

建築の歴史の変遷を資料・写真・ビデオ等で把握することにより、建築設計の糧とし、3年次の海外研修旅行の知識として習得することを目標とする。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明（建築史概要）
2	オリエント建築
3	エジプト建築
4	ギリシャ建築
5	ローマ建築
6	ビザンツ建築
7	ロマネスク建築
8	ゴシック建築
9	ルネッサンス建築
10	バロック建築
11	新古典主義建築
12	近代建築
13	日本建築
14	海外研修旅行について
15	まとめ

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	0	80	20	0

■ 履修上の注意

2級建築士受験に関わる指定科目

■ 実務経験概要

1996 年より設計事務所勤務を経て、現在丹羽建築設計事務所代表取締役。

スペースデザイン演習Ⅱ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：後期 科略：IP 学年：2年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

山本 治彦

■ 授業内容

前半はワンデーエクササイズを中心にコンセプト作りからプレゼンテーションまでの作業をグループにて行う。他校との競争の中で自分たちの力を試したい。そしてその流れで進級制作に連続させる。

■ 到達目標

わかりやすく インパクトのあるプレゼンテーションで相手を納得させることができるようになる。そしてどこが自分の作品の良いところか顧みる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	ワンデーエクササイズのコンセプト作り
2	エスキース
3	エスキース
4	作図・模型
5	プレゼン練習
6	作品完成・発表・反省
7	進級制作コンセプト再考
8	エスキースの完成（プレゼンボード・模型の予想）
9	作図・模型
10	作図・模型
11	作図・模型
12	作図・模型
13	プレゼンテーションの目玉を考える事
14	プレゼンテーション
15	修正

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題		筆記試験	出席率	その他
20%	20%	50%	50%	0	10%	0

■ 使用教材・用具

製図道具・模型製作用具 etc

■ 履修上の注意

ワンデーエクササイズは自分の作品としての意識を常に持って取り組んでほしい。誰かがやるではダメです。

■ 実務経験概要

【実務経験概要】設計事務所勤務その後一級建築士事務所主宰、設計活動を 30 年行っている。

建築計画

分類：専門科目 形態：講義 単位数：2 開講期：後期 科略：IP 学年：2年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

中山 裕志

■ 授業内容

建築種別・施設別に施設計画各論を進めるにあたり、立地計画・配置計画・各機能の計画・構造計画・設備計画などに関する建築計画の基礎的な事項を学ぶ。

■ 到達目標

建築計画に関する基礎的な知識、建築計画の建築と自然環境との関連について習得し、プラン作成など実際に活用する能力と姿勢を育てることを目標とする。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明（建築計画概要）
2	（構造計画について）
3	（設備計画について）
4	（避難・防災計画と室内環境の計画について）
5	住宅の計画（住宅計画の進め方）
6	（独立住宅の計画）
7	（二世帯住宅の平面計画）
8	集合住宅の計画（計画の進め方）
9	（集合住宅の平面計画）
10	事務所の計画（計画の進め方）
11	（事務所の平面計画）
12	幼稚園計画（幼稚園の計画の進め方）
13	（幼稚園の平面計画）
14	図書館の計画（計画の進め方）
15	（図書館の平面計画）

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0 %	0 %	0 %	80 %	20 %	0 %

■ 使用教材・用具

必要に応じてプリントを配布します。

■ 履修上の注意

2 級建築士受験に関わる指定科目 必修科目

■ 実務経験概要

建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験

建築製図Ⅱ②－a

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：後期 科略：IP 学年：2年 コマ数：2 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

中山 裕志

■ 授業内容

前期の木造平屋建の発展で、木造2階建の図面のトレースによって、平屋建にはなかった上・下階の空間的なつながり（階段の取り方）を理解するとともに、建築的条件のもと、身近な住宅を自らプランニングしたものを、各図面で表現する。

■ 到達目標

木造2階建の設計製図演習によって、上・下階をつなげる階段の断面的処理ができ、自らが設計した空間の「考え方」を図面または言語で第三者へ伝えることができるプレゼンテーション能力を習得することを目標とする。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明（製図の基本③）
2	配置図トレース
3	1階平面図トレース
4	2階平面図トレース
5	立面図トレース
6	断面図トレース
7	断面詳細図トレース
8	設計製図（平面図エスキース）
9	設計製図（1・2階平面図作図）
10	設計製図（立・断面図エスキース）
11	設計製図（立・断面図作図）
12	設計製図（配置図作図）
13	設計製図（断面詳細図作図①）
14	設計製図（断面詳細図作図②）
15	図面提出

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0％	0％	80％	0％	20％	0％

■ 使用教材・用具

平行定規、勾配定規、三角スケール、シャープペンシルなど

■ 履修上の注意

2級建築士受験に関わる指定科目 必修科目

■ 実務経験概要

建築設計事務所にて5年間の設計業務経験

建築製図Ⅱ②ーb

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：後期 科略：IP 学年：2年 コマ数：2 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

中山 裕志

■ 授業内容

前期の木造平屋建の発展で、木造2階建の図面のトレースによって、平屋建にはなかった上・下階の空間的なつながり（階段の取り方）を理解するとともに、建築的条件のもと、身近な住宅を自らプランニングしたものを、各図面で表現する。

■ 到達目標

木造2階建の設計製図演習によって、上・下階をつなげる階段の断面的処理ができ、自らが設計した空間の「考え方」を図面または言語で第三者へ伝えることができるプレゼンテーション能力を習得することを目標とする。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明（製図の基本④）
2	設計製図（基礎伏図エスキース）
3	設計製図（基礎伏図作図）
4	設計製図（1階床伏図エスキース）
5	設計製図（1階床伏図作図）
6	設計製図（2階床伏図エスキース）
7	設計製図（2階床伏図作図）
8	設計製図（小屋伏図エスキース）
9	設計製図（小屋伏図作図）
10	設計製図（天井伏図エスキース）
11	設計製図（天井伏図作図）
12	設計製図（軸組図エスキース）
13	設計製図（軸組図作図）
14	設計製図（建具表作図）
15	図面提出

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %

■ 使用教材・用具

平行定規、勾配定規、三角スケール、シャープペンシルなど

■ 履修上の注意

2級建築士受験に関わる指定科目 必修科目

■ 実務経験概要

建築設計事務所にて5年間の設計業務経験

プレゼンテーションⅡ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：後期 科略：IP 学年：2年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

藤原 敏嗣

■ 授業内容

Illustrator・Photoshop を使用しての広告や印刷物等のデザインデータ制作。進級制作物のプレゼンテーションボード制作

■ 到達目標

パネル・フライヤー・バナー等のパブリッシングデータの制作技術の習得とプレゼンテーション方法の修得。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	Illustrator・Photoshop を使用しての広告や印刷物等のデザインデータ制作
2	↓
3	↓
4	↓
5	↓
6	↓
7	↓
8	↓
9	↓
10	プレゼンテーションボード制作
11	↓
12	↓
13	↓
14	↓
15	↓

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	30	30	0	40	0

■ 使用教材・用具

Illustrator・Photoshop

■ 履修上の注意

指定課題は提出必須

■ 実務経験概要

インテリア雑貨の企画デザイン・広告・ウェブデザインなど 20 年以上の国内外ブランドのデザイン実績と自社雑貨ブランドの展開

パースペクティブ①

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：後期 科略：IP 学年：2年 コマ数：2 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

内田 里美

■ 授業内容

一点透視の書き方を最終的に理解出来る様にする。まずは手描きで空間を描いてみる。そして一点透視の手順に移す。窓や扉や家具の空間の中に入れて描けるようにする。その中で空間作成の感覚を身に着ける。

■ 到達目標

一点透視図を習得し、図面をみたときや頭の中にあるものをパースで表現出来る様にする。将来クライアント等の打ち合わせ時に言葉では表せない空間の表現を伝える力を持てるようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業内容説明
2	演習 空間のトレース①
3	演習 空間のトレース②
4	演習 一点透視の描き方
5	演習 課題①
6	演習 課題①
7	演習 課題②
8	演習 課題②
9	演習 課題③
10	演習 課題③
11	演習 課題④
12	演習 課題④
13	演習 課題⑤
14	演習 課題⑤
15	出力・課題提出

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	20	0

■ 使用教材・用具

ノートパソコン

■ 実務経験概要

岡山県内の企業にて住宅に関わる設計・打ち合わせ等の経験を活かします。

進級制作Ⅱ①

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1 開講期：後期 科略：IP 学年：2年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

中山 裕志

■ 授業内容

2年間の集大成である進級制作（個人制作）を行う。

■ 到達目標

情報収集力、決断力、計画性、イメージ力、問題解決力、自主性、行動力の大切さを理解することができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	進級制作エスキース
2	進級制作エスキース
3	進級制作（平面・断面計画完了）
4	進級制作（スタディー模型制作完了）
5	学校行事
6	進級制作（平面・断面 CAD 入力完了）
7	進級制作（プレゼンボードイメージ確定）
8	学校行事
9	進級制作（模型イメージ確定）
10	進級制作（本制作）
11	進級制作（本制作）
12	進級制作（本制作）
13	進級制作（本制作）
14	進級制作（本制作）
15	合評会

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %

■ 使用教材・用具

必要に応じてプリントを配布します。

■ 履修上の注意

必修科目

■ 実務経験概要

建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験

進級制作Ⅱ②

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1 開講期：後期 科略：IP 学年：2年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

中山 裕志

■ 授業内容

2年間の集大成である進級制作（個人制作）を行う。

■ 到達目標

情報収集力、決断力、計画性、イメージ力、問題解決力、自主性、行動力の大切さを理解することができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	進級制作エスキース
2	進級制作エスキース
3	進級制作エスキース
4	進級制作（平面・断面計画）
5	進級制作（スタディー模型制作）
6	進級制作（平面・断面 CAD 入力）
7	進級制作（プレゼンボードイメージ検討）①
8	進級制作（プレゼンボードイメージ検討）②
9	進級制作（模型イメージ検討）
10	進級制作（本制作）
11	進級制作（本制作）
12	進級制作（本制作）
13	進級制作（本制作）
14	進級制作（本制作）
15	合評会準備

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0 %	0 %	40 %	0 %	60 %	0 %

■ 使用教材・用具

必要に応じてプリントを配布します。

■ 履修上の注意

必修科目

■ 実務経験概要

建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験

ゼミⅡ

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1.5 開講期：後期 科略：IP 学年：2年 コマ数：3 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：○

中山 裕志

■ 授業内容

ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ等の学外イベントへの参加および進級制作対応

■ 到達目標

課題発見力、情報収集力、表現力、人に伝えるために情報を整理する力などを総合的に身につけることを目標とする。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応
2	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応
3	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応
4	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応
5	学校行事
6	デザインフェスタ対応
7	デザインフェスタ対応
8	デザインフェスタ対応
9	デザインフェスタ対応
10	進級制作対応
11	進級制作対応
12	進級制作対応
13	進級制作対応
14	進級制作対応
15	合評会作品搬入

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
20 %	20 %	40 %	0 %	20 %	0 %

■ 使用教材・用具

必要に応じてプリントを配布します。

■ 履修上の注意

必修科目

■ 実務経験概要

建築設計事務所にて 5 年間の設計業

ライフデザイン④

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1 開講期：後期 科略：IP 学年：2年 コマ数：2 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：—

秋岡 昌彦

■ 授業内容

担任やクラスメイトとの情報伝達、面談と通じて、各自の目標に向かった学生生活を送れるよう計画、振り返りをする。

■ 到達目標

企画力、計画性、協調性、グループワーク能力を高め、社会に適応する力を身につける。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応
2	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応
3	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応
4	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応
5	球技大会
6	デザインフェスタ対応
7	デザインフェスタ対応
8	デザインフェスタ対応
9	進級制作対応
10	進級制作対応
11	進級制作対応
12	進級制作対応
13	進級制作対応
14	進級制作対応
15	進級制作合評会

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
60	0	40	0	0	0

家具演習 I

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：前期 科略：IP 学年：2年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

秋岡 昌彦

■ 授業内容

自分でデザインした家具を、モデル制作→作図→積算→材料手配→制作の順に計画的に制作します。

■ 到達目標

実際に座る事の出来る椅子を考案し、木材（棒材）を用いて作る事ができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	オリエンテーション／課題内容説明
2	アイデアスケッチ、制作物決定
3	1/5モデル作成
4	1/5モデル作成
5	作図
6	作図
7	材料手配
8	木取り、製材
9	スミ付け、部品加工
10	部品加工
11	部品加工
12	部品加工
13	仮組み、微調整、本組み
14	目地払い、素地調整、塗装
15	合評、まとめ

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	100	0	0	0

■ 使用教材・用具

クロッキー帳、方眼紙（A3）、製図用具

■ 履修上の注意

材料の木材は授業内で材木店に出向き、自分で購入しますので 3000 円程度は必要です。作業に適した服装で臨むこと。

■ 実務経験概要

家具の製品開発や制作に 22 年間携わった経験を基き、授業を実施する。

雑貨演習 I

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：前期 科略：IP 学年：2年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

石田（周）、牧野 雄理

■ 授業内容

型取り用シリコン、注型用レジンを使用したキーホルダー制作。

■ 到達目標

型取り用シリコンを使用した型制作（片面）し、その型へ注型用レジン（無発泡ポリウレタン）を流してオリジナルデザインのキーホルダーを制作する。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明 型取り用シリコン、注型用レジンについての説明、キーホルダーデザイン作業
2	キーホルダーデザイン作業、原型制作 1
3	原型制作 2
4	原型制作 3
5	原型制作 4
6	原型制作 5
7	片面シリコン型枠制作、シリコン流し込み作業
8	注型用レジン流し込み作業 作品提出
9	基礎 課題 スマートフォンスリーブの製作
10	基礎 課題 マチのあるコインケースの製作
11	基礎 課題 仕切りのあるカードケースの製作
12	基礎 応用 課題 カード、コイン、お札の入る財布の製作
13	基礎 応用 課題 製作時間
14	基礎 応用 課題 製作時間
15	課題提出

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
15	10	55	0	20	0

■ 履修上の注意

グループ編成後連絡

安全に配慮して、材料・用具を扱い、協力して作品制作する

■ 実務経験概要

造形分野の作家として展示会やワークショップの経験豊富

ジュエリー演習Ⅰ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：前期 科略：IP 学年：2年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

武田 新

■ 授業内容

制作の段取り（作業を進める順序）重視、コスト計算、プレゼンテーション方法

■ 到達目標

商品となりうる作品の制作。完成品の完全なイメージが描けるようにする。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	異種材料の組合せ作品制作
2	象眼について（インレイ・オーバーレイ）
3	堅木に真鍮を埋め込む作品（ペンダントヘッド）
4	枠加工
5	枠加工
6	ベルト・バックル 制作
7	種類・構造・機能について
8	制作
9	制作
10	制作
11	ロスト・ワックス鑄造の原理・鑄込み・種類・方法
12	制作（原型づくり、仕上げまで）
13	制作（原型づくり、仕上げまで）
14	課題作品批評
15	まとめ

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	60	0	10	30

■ 履修上の注意

デザインが自由になる為、2年生より材料調達は原則個人で行う。

■ 実務経験概要

彫刻・ジュエリー作家。文化財修復・復元の経験もあり、工房ショップを経営。

3DCG演習 I - a

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：前期 科略：IP 学年：2年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

藤原 敏嗣

■ 授業内容

3Dモデリングソフトの実習および3Dプリンターによるサンプルモデル等の制作

■ 到達目標

3Dモデリングソフトの基本操作と3Dプリンターの操作方法の習得

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	オリエンテーション・ソフトウェアインストール FUSION 基本操作演習
2	FUSION 基本操作演習
3	FUSION 基本操作演習
4	FUSION 基本操作演習
5	3Dモデルの設計デザイン・出力
6	↓
7	↓
8	↓
9	↓
10	↓
11	↓
12	↓
13	↓
14	↓
15	制作発表

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
20	0	40	0	40	0

■ 使用教材・用具

AUTODESK FUSION（各自 PC へインストール）

3Dプリンター（FDM）

■ 実務経験概要

インテリア雑貨の企画デザイン・広告・ウェブデザインなど 20 年以上の国内外ブランドのデザイン実績と自社雑貨ブランドの展開

ゼミ I

分類：**実践（応用）科目** 形態：**実習** 単位数：**1.5** 開講期：**前期** 科略：**IP** 学年：**2年** コマ数：**3** 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：○

秋岡 昌彦

■ 授業内容

コンペへの応募、展示会の見学、技術や素材、デザインに関する実践研究などをおこなう。

■ 到達目標

課題発見力、情報収集力、デザイン画表現、人に伝えるために情報を整理する力などを総合的に身につける。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	前年度進級制作の振り返り 課題発表
2	下調べとアイデアスケッチ
3	デザイン画
4	作図（次回までに材料手配）
5	制作①
6	制作②
7	制作③
8	制作④
9	発表、提出
10	学校行事
11	中間報告会準備
12	中間報告会準備
13	中間報告会準備
14	中間報告会準備
15	まとめ

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	100	0	0	0

■ 履修上の注意

外部から依頼を受けた制作活動についても本授業でおこなう為、授業計画の変更をする場合がある。

■ 実務経験概要

家具メーカー企画室社員や個人作家として、家具のデザインや制作に携った21年間の経験。

プロダクト企画 I

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：1期 科略：IP 学年：2年 コマ数：4 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

村上 愛、三島 奈津希

■ 授業内容

企画・制作・販売の一連の流れを考えた上での、ショップ企画・商品企画・商品サンプル制作をする。

■ 到達目標

企画・制作・販売の一連の流れを考えた上での、ショップ企画・商品企画・商品サンプル制作をする。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	オリエンテーション 授業内容・課題内容・価格設定の説明 商品・ショップのリサーチ（リサーチマップ）
2	【午前】リサーチ報告会 【午後】商品デザイン案①・商品企画書
3	商品デザイン案② ショップ・担当決定 LINE グループ開設（ショップ用、社長 & 副社長用）
4	【午前】ショップ企画 ショップ名・コンセプト決定 Twitter アカウント開設（全体用）、Instagram アカウント開設（ショップ用） ロゴ・ディスプレイのイメージ 会計資料の説明（領収書の保管） 【午後】商品デザイン案③ 修正
5	商品サンプル制作① SNS 運用スタート
6	商品サンプル制作② 商品企画書最終
7	【午前】10:30～ 計画発表 【午後】商品サンプル修正①
8	商品サンプル修正② ロゴ提出・ディスプレイ案提出 商品制作計画&実施記録

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
30	10	50	0	10	0

■ 実務経験概要

店舗ディスプレイ、商品企画のデザインの仕事を 13 年経験。作家として県内外での展示会やワークショップの出展経験がある。／ 店舗ディレクターとしての接客、ディスプレイなど 8 年経験。

プロダクト制作 I

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：2期 科略：IP 学年：2年 コマ数：4 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

村上 愛、三島 奈津希

■ 授業内容

1期のプロダクト企画に基づいて、最適な材料や制作方法を考慮し、効率よく商品制作をする。

■ 到達目標

表現に適した材料や技法を選択し、計画的に制作出来るようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	商品制作①
2	商品制作②
3	商品制作③
4	商品制作④
5	商品制作⑤
6	商品制作⑥
7	商品提出（午前中） 取説・名刺のフォーマット配布 ディスプレイ図面・材料購入計画作成

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
30	10	50	0	10	0

■ 履修上の注意

作業を伴う授業内容です。安全に活動できる服装で臨むこと。

■ 実務経験概要

店舗ディスプレイ、商品企画のデザインの仕事を 13 年経験。作家として県内外での展示会やワークショップの出展経験がある。／ 店舗ディレクターとしての接客、ディスプレイなど 8 年経験。

ゼミⅡ

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1.5 開講期：後期 科略：IP 学年：2年 コマ数：3 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：○

秋岡 昌彦

■ 授業内容

モノのデザインをはじめ、クラフトマンとしてのさまざまな活動を通して社会で力を発揮するための総合的な力を身につける。

■ 到達目標

課題発見力、情報収集力、企画力、デザイン画の表現力などを総合的に身につける。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	中間報告会の振り返り
2	進級制作に関連した作品の制作
3	進級制作に関連した作品の制作
4	進級制作に関連した作品の制作
5	学校行事
6	進級制作に関連した作品の制作
7	進級制作に関連した作品の制作
8	進級制作に関連した作品の制作
9	進級制作作品制作
10	進級制作作品制作
11	進級制作作品制作
12	進級制作作品制作
13	進級制作作品制作
14	進級制作作品制作
15	合評会

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	100	0	0	0

■ 履修上の注意

外部から依頼を受けた制作活動についても本授業でおこなう為、授業計画の変更をする場合がある。

■ 実務経験概要

家具メーカー企画室社員や個人作家として、家具のデザインや制作に携った21年間の経験。

進級制作Ⅱ①

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1 開講期：後期 科略：IP 学年：2年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

秋岡 昌彦

■ 授業内容

身の回りのモノに関連した事柄について課題を発見し、新しい生活スタイルやアイテムを提案する。制作の過程で主体的に他者と関わる姿勢、デザインやモノづくりのスキルを総合的に身につける。

■ 到達目標

各専攻に関する作品の大作を制作し、効果的にプレゼンテーションできる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	中間報告会を踏まえての修正点をまとめる
2	個別に相談
3	個別に相談
4	試作、作図、材料手配など
5	試作、作図、材料手配など
6	試作、作図、材料手配など
7	試作、作図、材料手配など
8	進捗状況のまとめ、4期の計画書提出
9	本制作
10	本制作
11	本制作
12	本制作
13	本制作
14	本制作
15	合評会

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	40	60	0	0	0

■ 履修上の注意

合評会の可否に関しては本科目のものとする。

■ 実務経験概要

家具メーカー企画室社員や個人作家として、家具のデザインや制作に携った22年間の経験。

家具演習Ⅱ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：1.5 開講期：3期 科略：IP 学年：2年 コマ数：3 企業連携：—
実務経験のある教員による授業科目：○

秋岡 昌彦

■ 授業内容

成形合板の技術を用いてハンガーを制作します。

■ 到達目標

- ・成形合板技術を理解し、その可能性について考える事ができるようになる。
- ・1つの形状の部材を組み合わせ、造形的なバリエーションを導き出す事ができるようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	「成形合板技術を用いたハンガー」原理の説明 スケッチ
2	図面作成
3	型制作①
4	型制作② 合板の準備
5	プレス成形作業①
6	プレス成形作業②
7	トリミング、金具付け、仕上げ
8	講評会、作品提出

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	100	0	0	0

■ 使用教材・用具

- ・クロッキー帳

■ 履修上の注意

粉塵と危険を伴う作業をおこなうので、安全な服装で授業に臨むこと。

■ 実務経験概要

家具メーカーで製品開発に携った経験を元に授業を実施する。

雑貨演習Ⅱ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：1.5 開講期：3期 科略：IP 学年：2年 コマ数：3 企業連携：—
実務経験のある教員による授業科目：○

矢加部 徳公

■ 授業内容

石膏型作りとそれを用いた制作方法を学びます。排泥鑄込みと型押しで量産可能な雑貨小物を製作します。

■ 到達目標

イメージから作品化完成までのプロセスをたどることができる。土と型の性質を理解することで、造形の広がりを知ることができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	アイディアスケッチ
2	アイディアスケッチ 原型制作
3	原型制作 石膏取り
4	制作
5	窯詰め・素焼き
6	施釉
7	窯詰め・本焼き
8	講評 プレゼンテーション

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	10	50	0	10	30

■ 使用教材・用具

スケッチブック 筆記用具

■ 履修上の注意

汚れてもよい格好が望ましい。

■ 実務経験概要

陶芸家としてのキャリアをベースに指導をしていく。

ジュエリー演習Ⅱ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：1.5 開講期：3期 科略：IP 学年：2年 コマ数：3 企業連携：—
実務経験のある教員による授業科目：○

武田 新

■ 授業内容

蝟型鑄造（ロスト・ワックスキャストイング）、原型制作から鑄込み・仕上げまで

■ 到達目標

ロスト・ワックス鑄造の原理・方法を理解。鑄造で作るべき型の把握。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	ロストワックス授業と平行して一輪挿しを制作する。
2	3期授業時間相当の作品制作
3	3期授業時間相当の作品制作
4	3期授業時間相当の作品制作
5	3期授業時間相当の作品制作
6	3期授業時間相当の作品制作
7	3期授業時間相当の作品制作
8	まとめ

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	60	0	10	30

■ 履修上の注意

鑄込みのみ 外注する場合あり

■ 実務経験概要

彫刻・ジュエリー作家。文化財修復・復元の経験もあり、工房ショップを経営

プロダクト販売 I

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：3期 科略：IP 学年：2年 コマ数：4 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

村上 愛、三島 奈津希

■ 授業内容

チームで協力し、作品を向上させるアイテムの制作。会計資料作成から資金面の流れを学ぶ。販売マナーを学ぶ。

■ 到達目標

役割を経験し、完成度の高い展示会ができるようになる。コミュニケーション能力を高めることができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	写真撮影、販売グッズ制作①、ディスプレイ制作① 取説案提出・名刺案提出・ユニフォーム案提出 パッケージサンプル案提出
2	販売グッズ制作③、ディスプレイ制作③
3	10:30～ 展示販売シミュレーション・作品説明 販売グッズ修正①、ディスプレイ修正①
4	接客指導、販売グッズ修正③、ディスプレイ修正③
5	販売グッズ修正⑤、ディスプレイ修正⑤
6	最終確認、荷造り
7	報告会準備
8	10:30～ 報告会 報告書（会社用、個人用ファイル）提出

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
50	10	30	0	10	0

■ 実務経験概要

店舗ディスプレイ、商品企画のデザインの仕事を13年経験。作家として県内外での展示会やワークショップの出展経験がある。／店舗ディレクターとしての接客、ディスプレイなど8年経験。

プロダクト展示 I

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：3期 科略：IP 学年：2年 コマ数：4 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

村上 愛、秋岡 昌彦

■ 授業内容

プロダクト販売と連動し、展示効果や搬入のことなどを考慮して、ディスプレイの設計・制作をする。

■ 到達目標

グループの中で自分の力を活かす工夫が出来るようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	会計資料作成①（個人用） 販売グッズ制作②、ディスプレイ制作②
2	販売グッズ制作④、ディスプレイ制作④
3	販売グッズ制作⑤、ディスプレイ制作⑤
4	販売グッズ修正②、ディスプレイ修正②
5	販売グッズ修正④、ディスプレイ修正④
6	販売グッズ修正⑥、ディスプレイ修正⑥
7	会計資料作成②（個人用計算、収支報告書） 報告会準備
8	会計資料作成③（伝票書類練習「見積書・納品書・請求書」）

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
50	10	30	0	10	0

■ 履修上の注意

作業を伴う授業内容です。安全に活動できる服装で臨むこと。

■ 実務経験概要

店舗ディスプレイ、商品企画のデザインの仕事を 13 年経験。作家として県内外での展示会やワークショップの出展経験がある。

進級制作Ⅱ②

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1 開講期：4期 科略：IP 学年：2年 コマ数：4 企業連携：－ 実務経験のある教員による授業科目：○

村上 愛

■ 授業内容

各自の計画したスケジュールに従って制作を進めます。

■ 到達目標

制作過程でのトラブルに柔軟に対応し、最後まで工夫することを忘れず制作に取り組むことができるようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	制作過程報告/計画書提出
2	作品制作
3	作品制作
4	作品制作
5	作品制作
6	作品制作
7	合評会 搬入準備 プレゼン練習

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	0	0	50	50

■ 実務経験概要

店舗ディスプレイ、商品企画のデザインの仕事を 13 年経験。作家として県内外での展示会やワークショップの出展経験がある。

進級制作Ⅱ③

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1 開講期：4期 科略：IP 学年：2年 コマ数：4 企業連携：－ 実務経験のある教員による授業科目：○

坂田 圭

■ 授業内容

今までに学んだ技術を総合的に反映させた作品制作を行う。
各自の計画したスケジュールに従って制作を進めます。

■ 到達目標

制作過程でのトラブルに柔軟に対応し、最後まで工夫することを忘れず制作に取り組むことができるようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	制作過程報告/計画書提出
2	作品制作
3	作品制作
4	作品制作
5	作品制作
6	作品制作
7	合評会 搬入準備 プレゼン練習

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	0	0	50	50

■ 履修上の注意

基本的にこの実習授業中では制作をおこない手を動かすこと。考えることはこの授業外で。

■ 実務経験概要

グラフィックデザインや金属小物・アクセサリー製作業で独立し 20 年の活動

進級制作Ⅱ④

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1 開講期：4期 科略：IP 学年：2年 コマ数：4 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

牧野 雄理

■ 授業内容

各自の計画したスケジュールにしたがって制作を進める。

■ 到達目標

制作過程でのトラブルに柔軟に対応し、最後まで工夫する事を忘れずに制作に取り組む事ができるようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	制作経過報告・計画書提出
2	作品制作①
3	作品制作②
4	作品制作③
5	作品制作④
6	作品制作⑤
7	合評会搬入準備・プレゼン練習

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	0	0	50	50

■ 実務経験概要

造形分野の作家として展示会やワークショップの経験

進級制作Ⅱ⑤

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1 開講期：4期 科略：IP 学年：2年 コマ数：4 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

秋岡 昌彦

■ 授業内容

中間報告会での気づきをふまえ、各自で修正、詳細の計画、試作、本制作などをおこなう。

■ 到達目標

自分で取り組むべき課題が明確になり、次年度の就職活動における代表的作品として紹介する具体的なものができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	本制作
2	本制作
3	本制作
4	本制作
5	本制作
6	本制作
7	まとめ

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	0	0	50	50

海外デザインプログラムⅢ

分類：知識・教養科目 形態：講義 単位数：1 開講期：前期 科略：IP 学年：3年 コマ数：1 企業連携：
— 実務経験のある教員による授業科目：—

長船 圭二

■ 授業内容

3年次では西洋文化を実地実習型で学習します。海外デザインプログラムを通じて、現地実習先の選定、美術館検索、グループ行程表、各種旅行申請など研修旅行に向けての準備を全ておこないます。

■ 到達目標

海外研修旅行中において、より良い実習をおこなえる計画力・実行力を身につけます。また、日本国外の生活文化を学ぶことで安全な行動力を身につけることができます。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	海外デザインプログラムについて（オリエンテーション）
2	現地海外実習計画.1（グループワーク形式：実習先選定）
3	現地海外実習計画.2（グループワーク形式：実習先選定）
4	現地海外実習計画.3（グループワーク形式：実習先選定）
5	現地海外実習計画.4（旅行諸注意・申し込み関係申請等）
6	現地海外実習計画.5（旅行諸注意・申し込み関係申請等）
7	現地海外実習計画.6（旅行諸注意・申し込み関係申請等）
8	現地海外実習計画.7（旅行諸注意・申し込み関係申請等）
9	現地海外実習計画.8（旅行諸注意・申し込み関係申請等）
10	現地海外実習計画.9（旅行諸注意・申し込み関係申請等）
11	現地海外実習計画.10（グループワーク形式：行動予定表見直し）
12	現地海外実習計画.11（グループワーク形式：行動予定表見直し）
13	現地海外実習計画.12（最終調整）
14	現地海外実習計画.13（最終調整）
15	現地海外実習計画.14（最終調整）

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
60	0	0	0	40	0

■ 使用教材・用具

ノート PC(インターネットを利用して、情報収集および資料制作をおこないます)

■ 履修上の注意

現地研修（海外研修）参加学生は申し込み関係や計画を立てます。渡航者は必ず締め切り期限を守ってください。

スペースデザイン演習Ⅲ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：前期 科略：IP 学年：3年 コマ数：2 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

山本 治彦

■ 授業内容

表町の現在は駐車場になっている場所を借りて何が可能か提案してもらおうと思って居ます。

■ 到達目標

その場所に何を作るのが良いか提案をし、構造を選択し、計画を行う。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	出来れば現地の下見に行きたいと思います
2	何を作るか考える
3	何を作るか考える
4	エスキース
5	
6	
7	エスキースを決定し作図へ
8	作図
9	
10	
11	
12	完成予想図
13	模型製作
14	模型製作
15	講評会

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	30 %	50 %	0	20 %	0

■ 使用教材・用具

製図用具・模型製作用具・パソコン etc

■ 履修上の注意

これからの地方都市の在り方を社会の在り方を含めて考える事。隣接する衛生道路を生かすこと。

■ 実務経験概要

【実務経験概要】建築設計事務所勤務その後一級建築士事務所主宰。設計活動を 30 年行う。

卒業制作計画

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：前期 科略：IP 学年：3年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

山本 治彦

■ 授業内容

まずは、今までも建築体験のレポートを書いてもらいそこから個人の建築・インテリアに対する思いを掘り下げてゆきたいと思います。そしてその延長線上に卒業制作のコンセプトを組み上げるよう考えてゆこうと思います。

■ 到達目標

中間報告会の資料作りとコンセプト作り。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	2 年次進級制作反省会
2	私の建築的体験] というレポートを書く
3	↓
4	レポートの発表会
5	卒業制作の構想を練る
6	↓
7	↓
8	コンセプトを考える
9	↓
10	↓
11	コンセプトと構想から計画に
12	↓
13	↓
14	中間発表の制作
15	↓

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	30%	40%	0	30 %	0

■ 使用教材・用具

鉛筆・製図道具・パソコン・その他必要な資料 etc

■ 履修上の注意

いろんなことを思い出し、頭の中で整理をして想像することが中心になります。

■ 実務経験概要

トリエ系建築設計事務所に勤務の後一級建築士事務所主宰、住宅を中心に活動。

一般構造①

分類：専門科目 形態：講義 単位数：2 開講期：前期 科略：IP 学年：3年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

小掠 康善

■ 授業内容

木の特徴や木構造の種類・仕組みについて基本的な知識を身に付ける。

■ 到達目標

木構造全般（基礎・床組・軸組・小屋・2×4等）についての理解を深める。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明、建築物に働く力
2	地震に対する対策・建築全体の構造計画
3	木材
4	木構造の基礎知識
5	在来工法①（基礎地業）
6	在来工法②（軸組）
7	在来工法③（軸組）
8	在来工法④（柱頭・柱脚の設置基準・耐力壁）
9	在来工法⑤（小屋組）
10	在来工法⑥（床組）
11	在来工法⑦（階段・接合部）
12	枠組壁工法
13	木構造の下地と仕上げ
14	まとめ
15	考査準備

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	20	70	10	0

■ 履修上の注意

2級建築士受験に関わる指定科目 筆記試験あり

■ 実務経験概要

建設会社6年の経歴を生かし、一般構造①に関する授業を行います。

構造力学

分類：専門科目 形態：講義 単位数：2 開講期：前期 科略：IP 学年：3年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

中山 裕志

■ 授業内容

建築の骨組みとこれに作用する荷重ならびに構造物における力の釣り合いと構造物の安定について理解し、単純梁・片持梁・静定ラーメン・静定トラスなどに荷重が作用するときの各部応力について学ぶ。

■ 到達目標

構造物に作用する基礎的な力の問題を科学的に考え理解し、力学的な考察力・判断力・直感力を養うことを目指し、構造物の安全性の基礎能力を身に付けるとともに「構造のデザイン」に対する感覚や発展的な独創力を養うことを目標とする。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明（構造力学・構造設計概要）
2	力とモーメント
3	力の合成と分解
4	構造物と荷重
5	力の釣り合い、安定・静定
6	反力の求め方①（単純梁・片持梁）
7	反力の求め方②（静定ラーメン・3ヒンジ系ラーメン・トラス）
8	応力の種類・求め方①（単純梁・片持梁）
9	応力の求め方②（ラーメン）
10	静定トラスの応力①（接点法）
11	静定トラスの応力②（切断法）
12	断面の性質①（断面一次・断面二次モーメント）
13	断面の性質②（断面係数・断面二次半径）
14	応力度と許容応力度、座屈①
15	筆記試験

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0 %	0 %	0 %	80 %	20 %	0 %

■ 使用教材・用具

必要に応じてプリントを配布します。

■ 履修上の注意

2 級建築士受験に関わる指定科目 必修科目

■ 実務経験概要

建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験

店舗設計

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：前期 科略：IP 学年：3年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

香山 安武

■ 授業内容

計画演習を通し、体感をもって空間を構成していく。

■ 到達目標

内装から家具・照明など、店舗空間を総合的にイメージ・設計できるようになること。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明
2	設計の組み立てとプランの進め方について
3	実習①（既存図面トレース）
4	実習②（平面プラン計画）
5	実習③（平面・天井伏チェック）
6	実習④（平面プラン仕上げ）
7	実習⑤（立面プラン作成）
8	実習⑥（天井・照明・仕上げ作成）
9	実習⑦（家具図および部分詳細図作成）
10	実習⑧（スケッチパース作成）
11	実習⑨（スケッチパース仕上げ）
12	実習⑩（プレゼンテーション作成）
13	実習⑪（プレゼンテーション作成）
14	実習⑫（プレゼンテーション仕上げ）
15	実習⑬（プレゼンテーション仕上げ）

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	20	0

■ 使用教材・用具

- ・ 文具一式
- ・ 色鉛筆、マーカー等色付け具
- ・ CAD 入りパソコン

■ 履修上の注意

課外授業（実例の見学等）を行うことがあります。

■ 実務経験概要

アトリエ系設計事務所にて7年住宅設計・店舗設計に携わり独立して7年設計事務所として活動しています

建築製図Ⅲ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：前期 科略：IP 学年：3年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

中山 裕志

■ 授業内容

鉄筋コンクリート構造のトレースによって各図面を理解するとともに、建築的条件のもと、これまでの住宅のプランニングから、公共的施設であるコミュニティセンターを自らプランニングしたものを、各図面で表現する。

■ 到達目標

公共施設であるコミュニティセンターのあり方を設計製図演習によって理解し、自らが設計した空間の「考え方」を図面または言語で第三者へ伝えることができるプレゼンテーション能力を習得することを目標とする。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明（製図の基本⑤）
2	配置図トレース
3	1階平面図トレース
4	2階平面図トレース
5	立・断面図トレース
6	矩計図トレース①
7	矩計図トレース②
8	設計製図（平面図エスキース）
9	設計製図（1・2階平面図作図）
10	設計製図（立・断面図エスキース）
11	設計製図（立・断面図作図）
12	設計製図（配置図作図）
13	設計製図（矩計図①）
14	設計製図（矩計図②）
15	図面提出

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %

■ 使用教材・用具

平行定規、勾配定規、三角スケール、シャープペンシルなど

■ 履修上の注意

2級建築士受験に関わる指定科目 必修科目

■ 実務経験概要

建築設計事務所にて5年間の設計業務経験

CADⅡ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：前期 科略：IP 学年：3年 コマ数：2 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

■ 授業内容

作図を通して図面全体の構成と各図の役割を理解し、設計の内容を正確に理解し表現するための CAD 技術を習得する。

■ 到達目標

図面読解力、実務での使用に耐えうる正確な図面・設計作業に不可欠なスケール感覚を養うことを目標とする。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明
2	CAD 基本操作の復習と用紙・縮尺の設定
3	RC コミュニティーセンター 1 階平面図の作成①（構造図の解説と躯体の作図）
4	RC コミュニティーセンター 2 階平面図の作成①（1 階平面図の転用と修正①）
5	RC コミュニティーセンター 1 階平面図の作成②（詳細図の解説と仕上げの作図）
6	RC コミュニティーセンター 2 階平面図の作成②（1 階平面図の転用と修正②）
7	RC コミュニティーセンター 1 階平面図の作成③（外壁タイル割りと外部建具の作図）
8	RC コミュニティーセンター 2 階平面図の作成③（1 階平面図の転用と修正③）
9	RC コミュニティーセンター 1 階平面図の作成④（内部各所と建具の作図）
10	RC コミュニティーセンター 2 階平面図の作成④（内部各所と建具の作図①）
11	RC コミュニティーセンター 1 階平面図の作成⑤（床仕上げの作図）
12	RC コミュニティーセンター 2 階平面図の作成⑤（内部各所と建具の作図②）
13	RC コミュニティーセンター 1 階平面図の作成⑥（家具・寸法・室名の記入）
14	RC コミュニティーセンター 2 階平面図の作成⑥（家具・寸法・室名の記入）
15	課題提出

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	0	80	20	0

■ 履修上の注意

2 級建築士受験に関わる指定科目

■ 実務経験概要

岡山県内の企業にて住宅に関わる設計・打ち合わせ等の経験を活かします。

3DCG演習Ⅱ－b

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：前期 科略：IP 学年：3年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

丹羽 雅人

■ 授業内容

ARCHICAD の操作実習と過去の名建築の図面をトレースすることで活用法を理解する。

■ 到達目標

・ ARCHICAD の習得を通して、3D CAD をマスターし、BIM の概念について理解する。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	・ ARCHICAD の操作を習得して今後の製図に活かす。
2	オリエンテーション ソフトのダウンロード等 BIM でできること（講義）
3	Archicad とガイドラインの概要
4	1F モデルを作成（1）
5	1F モデルを作成（2）
6	各階の作成とモデルの仕上げ（1）
7	各階の作成とモデルの仕上げ（2）
8	各階の作成とモデルの仕上げ（3）
9	モデルから図面へ
10	名作住宅のトレースと3Dモデルの作成（1）
11	名作住宅のトレースと3Dモデルの作成（2）
12	名作住宅のトレースと3Dモデルの作成（3）
13	名作住宅のトレースと3Dモデルの作成（4）
14	名作住宅のトレースと3Dモデルの作成（5）
15	名作住宅のトレースと3Dモデルの作成（6）

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	50	0	50	0

■ 使用教材・用具

Archicad 26ではじめる BIM 設計入門（企画設計編）

■ 履修上の注意

前半は教科書を使用して説明を行うので、必ず教科書を忘れないこと。

■ 実務経験概要

建築設計の実務を20年以上行っている経験を生かして授業を行う。

コンセプトメイキングⅡ

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1 開講期：前期 科略：IP 学年：3年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

中山 裕志

■授業内容

前半は、卒業制作に向けたコンセプトメイキングを行い、後半は、中間報告会に向けての制作を行い自主性を強化する。

■到達目標

コンセプトに沿った企画、立案、計画を自らが立てる力を身につける。

■授業計画と内容（表）

回数	内容
1	2 年次（進級制作Ⅱ）の振り返り
2	卒業制作コンセプトメイキングに向けての準備シート配布
3	準備シート提出
4	卒業制作テーマ研究①
5	卒業制作テーマ研究②
6	コンセプトシート配布→作成
7	スケジュール表配布→作成
8	コンセプトシート・スケジュール表提出
9	制作内容検討①
10	制作内容検討②
11	制作内容検討③中間報告会用コンセプトシート配布
12	夏期休暇中の計画確認
13	中間報告会準備①、中間報告会用コンセプトシート提出
14	中間報告会準備②
15	中間報告会

■評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0 %	40 %	40 %	0 %	20 %	0 %

■使用教材・用具

必要に応じてプリントを配布します。

■履修上の注意

必修科目

■実務経験概要

建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験

ゼミⅢ

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1.5 開講期：前期 科略：IP 学年：3年 コマ数：3 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：○

中山 裕志

■ 授業内容

コンペへの応募、課題制作、展覧会の見学、技術や素材、インテリア・建築デザインに関する実践研究などをおこなう。■

★文字
エラー

■ 到達目標

インテリア・建築の計画、法規、施工、構造について知的好奇心を働かせ、吸収しようとする姿勢を身につける。課題発見力、情報収集力、空間表現、人に伝えるために情報を整理する力などを総合的に身につける。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明
2	課題「私の好きな美術館-その解釈」の課題内容説明
3	題材とする美術館の選定
4	制作①
5	制作②
6	制作③
7	制作④
8	制作⑤→課題提出（プレゼンテーション）
9	ワンデーエクササイズ概要について
10	学校行事
11	フィールドワーク①
12	フィールドワーク②
13	ワンデーエクササイズグループディスカッション①
14	ワンデーエクササイズグループディスカッション②
15	ワンデーエクササイズグループディスカッション③

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
20 %	20 %	40 %	0 %	20 %	0 %

■ 使用教材・用具

必要に応じてプリントを配布します。

■ 履修上の注意

必修科目

■ 実務経験概要

建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験

ライフデザイン⑤

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1 開講期：前期 科略：IP 学年：3年 コマ数：2 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：—

秋岡 昌彦

■ 授業内容

担任やクラスメイトとの情報交換、面談を通じて、各自の目標に向かった学生生活を送れるよう計画、振り返りをする。

■ 到達目標

企画力、計画性、協調性、グループワーク能力を高め、社会に適応する力を身につける。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明
2	個人面談①就職活動準備①
3	個人面談②就職活動準備②
4	個人面談③就職活動準備③
5	個人面談④就職活動準備④
6	個人面談⑤就職活動準備⑤
7	デザインフェスタ対応①
8	デザインフェスタ対応②
9	球技大会準備
10	学校行事
11	デザインフェスタ対応③
12	卒業制作中間報告会準備①
13	卒業制作中間報告会準備②
14	卒業制作中間報告会準備③
15	夏期休暇についての直前指導

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
60	0	40	0	0	0

■ 履修上の注意

学生生活に関する連絡、行事の準備活動、進路に関することを本授業にておこなう。

建築施工

分類：専門科目 形態：講義 単位数：2 開講期：後期 科略：IP 学年：3年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

丹羽 雅人

■ 授業内容

イラストの豊富な教科書に沿って施工の流れと各種工事の内容について学習する。

■ 到達目標

実際に建物を作る流れを学習することで、ものづくりの側面から建築の面白さを理解する。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	オリエンテーション 建築生産の仕組み
2	1 準備工事 2 山留め工事
3	3 杭工事 4 土工事
4	5 地下躯体工事
5	6 地上躯体工事
6	番外編 木造躯体工事
7	7 外装仕上げ工事
8	8 内装仕上工事
9	9 設備工事①
10	10 設備工事②
11	外構・その他工事
12	維持・保全、改修工事
13	解体工事 他
14	復習
15	前期試験準備

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	0	72	28	0

■ 履修上の注意

筆記試験あり

■ 実務経験概要

1996 年より設計事務所勤務を経て、現在丹羽建築設計事務所代表取締役。

一般構造②

分類：専門科目 形態：講義 単位数：2 開講期：後期 科略：IP 学年：3年 コマ数：2 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

小掠 康善

■ 授業内容

鉄筋コンクリート構造・鉄骨構造等の構成や仕組について、基本的な知識を身につける。

■ 到達目標

鉄筋コンクリート構造等の特性・原理について理解を深める。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明、剛材
2	鉄骨造の基礎知識
3	鉄骨造①（接合）
4	鉄骨構造②（部材の設計）
5	鉄骨構造③（各部の構造・床板・階段・耐火被覆）
6	コンクリートと鉄筋
7	鉄筋コンクリートの基礎知識
8	鉄筋コンクリート構造①（鉄筋の配筋計画）
9	鉄筋コンクリート構造②（各部の構造）
10	壁式鉄筋コンクリート構造
11	その他の構造
12	基礎
13	鉄骨構造・鉄筋コンクリート造等の下地と仕上げ
14	まとめ
15	考査準備

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	20	70	10	0

■ 履修上の注意

2級建築士受験に関わる指定科目 筆記試験あり

■ 実務経験概要

建設会社6年の経歴を生かし、一般構造①に関する授業を行います。

建築史

分類：専門科目 形態：講義 単位数：2 開講期：後期 科略：IP 学年：3年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

丹羽 雅人

■ 授業内容

日本建築史、西洋建築史、近代建築史について教科書と副教材を用いて理解する。

■ 到達目標

日本建築史、西洋建築史、近代建築史の基本的な知識と流れを理解する。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	西洋古代（エジプト、ギリシャ、ローマ）
2	西洋中世1（ビザンツ、ロマネスク）
3	西洋中世2（ゴシック）
4	西洋近世（ルネサンス、バロック）
5	西洋近世（新古典主義、歴史主義）
6	日本古代1（奈良、平安の寺院）
7	日本古代2（奈良、平安の神社、宮殿）
8	日本中世
9	日本近世1（城郭・書院造）
10	日本近世2（寺社・民家他）
11	西洋近代1
12	西洋近代2
13	日本近代1
14	日本近代2
15	戦後の近代建築

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	0	72	28	0

■ 履修上の注意

2級建築士受験に関わる指定科目 筆記試験あり

■ 実務経験概要

1996年より設計事務所勤務を経て、現在丹羽建築設計事務所代表取締役。

スペースデザイン演習Ⅳ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：後期 科略：IP 学年：3年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

山本 治彦

■ 授業内容

前半はワンデーエクササイズを中心にコンセプト作りからプレゼンテーションまでの作業をグループにて行う。他校との競争の中で自分たちの力を試したい。そしてその流れで卒業制作に連続させる。

■ 到達目標

わかりやすく インパクトのあるプレゼンテーションで相手を納得させることができるようになる。そしてどこが自分の作品の良いところか顧みる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	ワンデーエクササイズのコンセプト作り
2	エスキース
3	エスキース
4	作図・模型
5	プレゼン練習
6	作品完成・発表・反省
7	卒業制作コンセプト再考
8	エスキースの完成（プレゼンボード・模型の予想）
9	作図・製作
10	作図・製作
11	作図・製作
12	作図・製作
13	プレゼンテーションの目玉を考える事
14	プレゼンテーション
15	修正

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
20%	20%	50 %	0	10%	0

■ 使用教材・用具

製図道具・模型製作用具 etc

■ 履修上の注意

ワンデーエクササイズは自分の作品としての意識を常に持って取り組んでほしい。誰かがやるではダメです。

■ 実務経験概要

【実務経験概要】設計事務所勤務その後一級建築士事務所主宰、設計活動を 30 年行っている。

都市計画

分類：専門科目 形態：講義 単位数：2 開講期：後期 科略：IP 学年：3年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

中山 裕志

■ 授業内容

建築計画に必要な建築や都市の歴史および現況をフィールドワークで体験し、ワークショップ形式で都市の中の建築の在り方や望ましい姿について議論を交え講義する。

■ 到達目標

住まい・風土・歴史・環境・安全・形態・都市などのテーマについて、身近な都市や住環境の事例に触れながら、建築がどう都市に関わっていくべきなのかの知識の習得かつ幅広い考察力を養うことを目標とする。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明（都市計画概要）
2	歴史的建築の時代背景と様式～建築様式の成立と変遷について～
3	風土と建築～バナキュラー建築のなりたちについて～
4	環境と建築～自然環境と建築の関わりについて～
5	建築計画を俯瞰する～建築計画の意味と領域について～
6	フィールドワーク①（岡山カルチャーゾーン）
7	グループディスカッション①→プレゼンテーション①
8	建築形態とイメージ～建築の多様な形態について～
9	住まいの基本空間と歴史～住まいの原型と発展過程について～
10	都市のかたちと変遷～都市の成立と歴史について～
11	都市の空間密度と居住環境～都市と都市型住宅の空間特性について～
12	都市の動態変化～都市と居住環境の変容について～
13	フィールドワーク②（出石町界限）
14	グループディスカッション②→プレゼンテーション②
15	フィールドワークレポート、グループディスカッション時のまとめレポート提出

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
20％	20％	20％	20％	20％	0％

■ 使用教材・用具

必要に応じてプリントを配布します。

■ 履修上の注意

2級建築士受験に関わる指定科目 必修科目

■ 実務経験概要

建築設計事務所にて5年間の設計業務経験

建築製図Ⅳ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：後期 科略：IP 学年：3年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

中山 裕志

■ 授業内容

3年間の集大成である卒業制作（個人制作）を行う。

■ 到達目標

情報収集力、決断力、計画性、イメージ力、問題解決力、自主性、行動力の大切さを理解することができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	卒業制作エスキース
2	卒業制作エスキース
3	卒業制作エスキース
4	卒業制作（平面・断面計画）
5	卒業制作（スタディー模型制作）
6	卒業制作（平面・断面 CAD 入力）
7	卒業制作（プレゼンボードイメージ検討）①
8	卒業制作（プレゼンボードイメージ検討）②
9	卒業制作（模型イメージ検討）
10	卒業制作（本制作）
11	卒業制作（本制作）
12	卒業制作（本制作）
13	卒業制作（本制作）
14	卒業制作（本制作）
15	合評会準備

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0 %	0 %	40 %	0 %	60 %	0 %

■ 使用教材・用具

必要に応じてプリントを配布します。

■ 履修上の注意

卒業制作対応授業となります。

■ 実務経験概要

建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験

プレゼンテーションⅢ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：後期 科略：IP 学年：3年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

藤原 敏嗣

■ 授業内容

Illustrator・Photoshop を使用しての広告や印刷物等のデザインデータ制作。卒業制作物のプレゼンテーションボード制作

■ 到達目標

パネル・フライヤー・バナー等のパブリッシングデータの制作技術の習得とプレゼンテーション方法の修得。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	Illustrator・Photoshop を使用しての広告や印刷物等のデザインデータ制作
2	↓
3	↓
4	↓
5	↓
6	↓
7	↓
8	↓
9	↓
10	↓
11	プレゼンテーションボード制作
12	↓
13	↓
14	↓
15	↓

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	20	30	0	40	0

■ 使用教材・用具

Illustrator・Photoshop

■ 履修上の注意

指定課題は提出必須

■ 実務経験概要

インテリア雑貨の企画デザイン・広告・ウェブデザインなど 20 年以上の国内外ブランドのデザイン実績と自社雑貨ブランドの展開

パースペクティブ②

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：後期 科略：IP 学年：3年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

■ 授業内容

空間を表示する手法としての透視図法の理論を学びます。また、実際に建築図面から図法を使ったパースの描き方をマーカーや絵の具を使用して着彩の手法について学びます。

■ 到達目標

図面をもとに透視図を起こしたり、それに着彩してプレゼンテーション用のレンダリングを作成することができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明、透視図とは
2	外観パースの図法による起こし方
3	点景の描き方
4	外観パースの着彩①
5	外観パースの着彩②
6	室内パースの透視図法による起こし方
7	室内パースの着彩①
8	室内パースの着彩②
9	住宅の透視図法による起こし方
10	住宅のパース着彩①
11	住宅のパース着彩②
12	商業ビルの透視図法による起こし方
13	商業ビルのパース着彩①
14	商業ビルのパース着彩②
15	商業ビルのパース着彩③

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	20	0

■ 履修上の注意

2級建築士受験に関わる指定科目

■ 実務経験概要

岡山県内の企業にて住宅に関わる設計・打ち合わせ等の経験を活かします。

卒業制作①

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1 開講期：後期 科略：IP 学年：3年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

中山 裕志

■ 授業内容

3年間の集大成である卒業制作（個人制作）を行う。

■ 到達目標

情報収集力、決断力、計画性、イメージ力、問題解決力、自主性、行動力の大切さを理解することができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	卒業制作エスキース
2	卒業制作エスキース
3	卒業制作（平面・断面計画完了）
4	卒業制作（スタディー模型制作完了）
5	学校行事
6	卒業制作（平面・断面 CAD 入力完了）
7	卒業制作（プレゼンボードイメージ確定）
8	学校行事
9	卒業制作（模型イメージ確定）
10	卒業制作（本制作）
11	卒業制作（本制作）
12	卒業制作（本制作）
13	卒業制作（本制作）
14	卒業制作（本制作）
15	合評会

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %

■ 使用教材・用具

必要に応じてプリントを配布します。

■ 履修上の注意

必修科目

■ 実務経験概要

建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験

卒業制作②

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1 開講期：後期 科略：IP 学年：3年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

中山 裕志

■ 授業内容

3年間の集大成である卒業制作（個人制作）を行う。

■ 到達目標

情報収集力、決断力、計画性、イメージ力、問題解決力、自主性、行動力の大切さを理解することができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	卒業制作エスキース
2	卒業制作エスキース
3	卒業制作エスキース
4	卒業制作（平面・断面計画）
5	卒業制作（スタディー模型制作）
6	卒業制作（平面・断面 CAD 入力）
7	卒業制作（プレゼンボードイメージ検討）①
8	卒業制作（プレゼンボードイメージ検討）②
9	卒業制作（模型イメージ検討）
10	卒業制作（本制作）
11	卒業制作（本制作）
12	卒業制作（本制作）
13	卒業制作（本制作）
14	卒業制作（本制作）
15	合評会準備

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0 %	0 %	40 %	0 %	60 %	0 %

■ 使用教材・用具

必要に応じてプリントを配布します。

■ 履修上の注意

必修科目

■ 実務経験概要

建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験

卒業制作③

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1 開講期：後期 科略：IP 学年：3年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

中山 裕志

■ 授業内容

3年間の集大成である卒業制作（個人制作）を行う。

■ 到達目標

情報収集力、決断力、計画性、イメージ力、問題解決力、自主性、行動力の大切さを理解することができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	卒業制作エスキース
2	卒業制作エスキース
3	卒業制作エスキース
4	卒業制作（平面・断面計画）
5	卒業制作（スタディー模型制作）
6	卒業制作（平面・断面 CAD 入力）
7	卒業制作（プレゼンボードイメージ検討）①
8	卒業制作（プレゼンボードイメージ検討）②
9	卒業制作（模型イメージ検討）
10	卒業制作（本制作）
11	卒業制作（本制作）
12	卒業制作（本制作）
13	卒業制作（本制作）
14	卒業制作（本制作）
15	合評会準備

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0 %	0 %	40 %	0 %	60 %	0 %

■ 使用教材・用具

必要に応じてプリントを配布します。

■ 履修上の注意

必修科目

■ 実務経験概要

建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験

ゼミⅣ

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1.5 開講期：後期 科略：IP 学年：3年 コマ数：3 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：○

中山 裕志

■ 授業内容

ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ等の学外イベントへの参加および卒業制作対応

■ 到達目標

課題発見力、情報収集力、表現力、人に伝えるために情報を整理する力などを総合的に身につけることを目標とする。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応
2	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応
3	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応
4	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応
5	学校行事
6	デザインフェスタ対応
7	デザインフェスタ対応
8	デザインフェスタ対応
9	デザインフェスタ対応
10	卒業制作対応
11	卒業制作対応
12	卒業制作対応
13	卒業制作対応
14	卒業制作対応
15	合評会作品搬入

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
20 %	20 %	40 %	0 %	20 %	0 %

■ 使用教材・用具

必要に応じてプリントを配布します。

■ 履修上の注意

必修科目

■ 実務経験概要

建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験

ライフデザイン⑥

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1 開講期：後期 科略：IP 学年：3年 コマ数：2 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：—

秋岡 昌彦

■ 授業内容

担任やクラスメイトとの情報交換、面談を通じて、各自の目標に向かった学生生活を送れるよう計画、振り返りをする。

■ 到達目標

企画力、計画性、協調性、グループワーク能力を高め、社会に適応する力を身につける。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応
2	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応
3	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応
4	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応
5	デザインフェスタ対応
6	デザインフェスタ対応
7	デザインフェスタ対応
8	卒業制作対応
9	卒業制作対応
10	卒業制作対応
11	卒業制作対応
12	卒業制作対応
13	卒業制作対応
14	卒業制作対応
15	卒業制作対応

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
60	0	40	0	0	0

家具演習Ⅲ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：前期 科略：IP 学年：3年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

秋岡 昌彦

■ 授業内容

箱ものの家具をデザインし、設計する。作る過程では扉や引き出しなどを心地よく使えるように取り付けるコツなどを体得する。

■ 到達目標

扉、引き戸、引き出しのしくみを理解し、デザインができるようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	オリエンテーション／課題内容説明
2	アイデアスケッチ、制作物決定
3	1/5モデル作成
4	1/5モデル作成
5	作図
6	作図
7	材料手配
8	木取り、製材
9	スミ付け、部品加工
10	部品加工
11	部品加工
12	仮組み、微調整、本組み
13	素地調整、塗装
14	塗装
15	合評、まとめ

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	100	0	0	0

■ 使用教材・用具

クロッキー帳、方眼紙（A3）、製図用具

■ 履修上の注意

材料は各自で手配します。作業に適応した服装で授業に臨むこと。

■ 実務経験概要

家具メーカーで製品開発に携る経験を元に授業を実施する。

雑貨演習Ⅲ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：前期 科略：IP 学年：3年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

石田（周）、牧野 雄理

■ 授業内容

各技法の基礎の実習と、技法を応用した作品制作
型取り用シリコンを使用して 2 面型を制作し、注型用レジンを通して
オリジナルデザインのキーホルダー制作（石田）

■ 到達目標

各技法の基礎技術の習得
型取り用シリコン、注型用レジン（無発泡ポリウレタン）の使用
方法の習得

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業概要説明 型取り用シリコン、注型用レジンについての説明、キーホルダーデザイン作業
2	キーホルダーデザイン作業、原型制作 1
3	原型制作 1
4	原型制作 2
5	原型制作 3
6	シリコン型枠制作、粘土埋め作業、シリコン流し込み作業 1
7	シリコン流し込み作業 2
8	注型用レジンの流し込み作業、作品提出。
9	基礎 課題 染色、スタンピングを行ってコースターの製作
10	基礎 課題 内縫い、ファスナーの取り付けを行ってペンケースの製作
11	基礎 課題 内縫い、ファスナーの取り付けを行ってペンケースの製作
12	基礎 課題 ⑨、⑩、⑪の授業で学習した技術を使って、ポーチ or ミニバックの製作
13	基礎 課題 製作時間
14	基礎 課題 製作時間
15	課題提出

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
15	10	55	0	20	0

■ 履修上の注意

グループ編成後連絡
安全に配慮して、材料・用具を扱い、協力して作品制作する

■ 実務経験概要

造形分野の作家として展示会やワークショップの経験
映像、映画などの特殊メイク、特殊造形制作。
展示用の等身大フィギュア、店舗、商業施設用の立体造形制作。（石田）

ジュエリー演習Ⅲ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：前期 科略：IP 学年：3年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

武田 新

■ 授業内容

自分自身のデザイン力・技術力のレベルを自覚し弱点を克服。

■ 到達目標

オリジナリティーの確立。作品完成時の形がしっかりイメージ出来るようにする。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	金属製の箱 制作
2	金属製の箱 制作 精度重視
3	金属製の箱 制作 段取り・プラン 提示
4	金属製の箱 制作 蝶番・金具の知識・制作方法
5	金属製の箱 制作
6	金属製の箱 制作
7	金属製の箱 制作
8	金属製の箱 制作
9	金属製の箱 制作
10	付属金具が必要なジュエリー制作 金具類の種類・組立て
11	付属金具が必要なジュエリー制作 金具類の種類・組立て
12	付属金具が必要なジュエリー制作 金具類の種類・組立て
13	付属金具が必要なジュエリー制作 金具類の種類・組立て
14	課題作品批評
15	まとめ

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	60	0	10	30

■ 履修上の注意

金具付ジュエリーは 相談の上、3. 5点を選んで制作する。

■ 実務経験概要

彫刻・ジュエリー作家。文化財修復・復元の経験もあり、工房ショップを経営。

3DCG演習Ⅱ－a

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：前期 科略：IP 学年：3年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

藤原 敏嗣

■ 授業内容

3Dモデリングソフトの実習および3Dプリンターによるサンプルモデル等の制作

■ 到達目標

3Dモデリングソフトの基本操作と3Dプリンターの操作方法の習得

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	オリエンテーション・ソフトウェアインストール FUSION 基本操作演習
2	FUSION 基本操作演習
3	FUSION 基本操作演習
4	FUSION 基本操作演習
5	3Dモデルの設計デザイン・出力
6	↓
7	↓
8	↓
9	↓
10	↓
11	↓
12	↓
13	↓
14	↓
15	制作発表

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
20	0	40	0	40	0

■ 使用教材・用具

AUTODESK FUSION（各自 PC へインストール）

3Dプリンター（FDM）

■ 実務経験概要

インテリア雑貨の企画デザイン・広告・ウェブデザインなど 20 年以上の国内外ブランドのデザイン実績と自社雑貨ブランドの展開

ゼミⅢ

分類：**実践（応用）科目** 形態：**実習** 単位数：**1.5** 開講期：**前期** 科略：**IP** 学年：**3年** コマ数：**3** 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：○

秋岡 昌彦

■ 授業内容

コンペへの応募、展示会の見学、技術や素材、デザインに関する実践研究などをおこなう。

■ 到達目標

課題発見力、情報収集力、デザイン画表現、人に伝えるために情報を整理する力などを総合的に身につける。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	前年度進級制作の振り返り 課題発表
2	下調べとアイデアスケッチ
3	デザイン画
4	作図（次回までに材料手配）
5	制作①
6	制作②
7	制作③
8	制作④
9	発表、提出
10	学校行事
11	中間報告会準備
12	中間報告会準備
13	中間報告会準備
14	中間報告会準備
15	まとめ

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	100	0	0	0

■ 履修上の注意

外部から依頼を受けた制作活動についても本授業でおこなう為、授業計画の変更をする場合がある。

■ 実務経験概要

家具メーカー企画室社員や個人作家として、家具のデザインや制作に携った21年間の経験。

プロダクト企画Ⅱ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：1期 科略：IP 学年：3年 コマ数：4 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

村上 愛、三島 奈津希

■ 授業内容

企画・制作・販売の一連の流れを考えた上での、ショップ企画・商品企画・商品サンプル制作をする。

■ 到達目標

企画・制作・販売の一連の流れを考えた上での、ショップ企画・商品企画・商品サンプル制作をする。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	オリエンテーション 授業内容・課題内容・価格設定の説明 商品・ショップのリサーチ（リサーチマップ）
2	【午前】リサーチ報告会 【午後】商品デザイン案①・商品企画書
3	商品デザイン案② ショップ・担当決定 LINE グループ開設（ショップ用、社長 & 副社長用）
4	【午前】ショップ企画 ショップ名・コンセプト決定 Twitter アカウント開設（全体用）、Instagram アカウント開設（ショップ用） ロゴ・ディスプレイのイメージ 会計資料の説明（領収書の保管） 【午後】商品デザイン案③ 修正
5	商品サンプル制作① SNS 運用スタート
6	商品サンプル制作② 商品企画書最終
7	【午前】10:30～ 計画発表 【午後】商品サンプル修正①
8	商品サンプル修正② ロゴ提出・ディスプレイ案提出 商品制作計画&実施記録

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
30	10	50	0	10	0

■ 実務経験概要

店舗ディスプレイ、商品企画のデザインの仕事を 13 年経験。作家として県内外での展示会やワークショップの出展経験がある。／ 店舗ディレクターとしての接客、ディスプレイなど 8 年経験。

プロダクト制作Ⅱ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：2期 科略：IP 学年：3年 コマ数：4 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

村上 愛、三島 奈津希

■ 授業内容

1期のプロダクト企画に基づいて、最適な材料や制作方法を考慮し、効率よく商品制作をする。

■ 到達目標

表現に適した材料や技法を選択し、計画的に制作出来るようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	商品制作①
2	商品制作②
3	商品制作③
4	商品制作④
5	商品制作⑤
6	商品制作⑥
7	商品提出（午前中） 取説・名刺のフォーマット配布 ディスプレイ図面・材料購入計画作成

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
30	10	50	0	10	0

■ 履修上の注意

作業を伴う授業内容です。安全に活動できる服装で臨むこと。

■ 実務経験概要

店舗ディスプレイ、商品企画のデザインの仕事を13年経験。作家として県内外での展示会やワークショップの出展経験がある。／店舗ディレクターとしての接客、ディスプレイなど8年経験。

ゼミⅣ

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1.5 開講期：後期 科略：IP 学年：3年 コマ数：3 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：○

秋岡 昌彦

■ 授業内容

モノのデザインをはじめ、クラフトマンとしてのさまざまな活動を通して社会で力を発揮するための総合的な力を身につける。

■ 到達目標

課題発見力、情報収集力、企画力、デザイン画の表現力などを総合的に身につける。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	中間報告会の振り返り
2	卒業制作に関連した作品の制作
3	卒業制作に関連した作品の制作
4	卒業制作に関連した作品の制作
5	学校行事
6	卒業制作に関連した作品の制作
7	卒業制作に関連した作品の制作
8	卒業制作に関連した作品の制作
9	卒業制作作品制作
10	卒業制作作品制作
11	卒業制作作品制作
12	卒業制作作品制作
13	卒業制作作品制作
14	卒業制作作品制作
15	合評会

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	100	0	0	0

■ 履修上の注意

外部から依頼を受けた制作活動についても本授業でおこなう為、授業計画の変更をする場合がある。

■ 実務経験概要

家具メーカー企画室社員や個人作家として、家具のデザインや制作に携った21年間の経験。

卒業制作①

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1 開講期：後期 科略：IP 学年：3年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

秋岡 昌彦

■ 授業内容

身の回りのモノに関連した事柄について課題を発見し、新しい生活スタイルやアイテムを提案する。制作の過程で主体的に他者と関わる姿勢、デザインやモノづくりのスキルを総合的に身につける。

■ 到達目標

各専攻に関する作品の大作を制作し、効果的にプレゼンテーションできる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	中間報告会を踏まえての修正点をまとめる
2	個別に相談
3	個別に相談
4	試作、作図、材料手配など
5	試作、作図、材料手配など
6	試作、作図、材料手配など
7	試作、作図、材料手配など
8	進捗状況のまとめ、4期の計画書提出
9	本制作
10	本制作
11	本制作
12	本制作
13	本制作
14	本制作
15	合評会

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	40	60	0	0	0

■ 履修上の注意

合評会の可否に関しては本科目のものとする。

■ 実務経験概要

家具メーカー企画室社員や個人作家として、家具のデザインや制作に携った22年間の経験。

家具演習Ⅳ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：1.5 開講期：3期 科略：IP 学年：3年 コマ数：3 企業連携：—
実務経験のある教員による授業科目：○

秋岡 昌彦

■ 授業内容

今まで習得した知識、技能を更に発展させ、家具、木工作品に関して自ら設定した目標に向かって制作活動を行います。教員に報告、確認をしながら進める事も重要になります。

■ 到達目標

- ・今まで習った技術から新たに課題を見つけ出すことができる。
- ・成果の予測をし、実現するためにやるべきことや工程を計画することができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	成果の予測と計画
2	実践内容企画、設計など
3	計画に基づいて制作
4	計画に基づいて制作
5	計画に基づいて制作
6	計画に基づいて制作
7	計画に基づいて制作
8	講評会、作品提出

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	100	0	0	0

■ 使用教材・用具

クロッキー帳、方眼紙（A3）、製図用具

■ 履修上の注意

粉塵、危険を伴う作業をおこないます。安全に作業できる服装で授業に臨むこと。

■ 実務経験概要

家具メーカーで製品開発に携る経験を元に授業を実施する。

雑貨演習Ⅳ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：1.5 開講期：3期 科略：IP 学年：3年 コマ数：3 企業連携：—
実務経験のある教員による授業科目：○

矢加部 徳公

■ 授業内容

石膏型作りとそれを用いた制作方法を学びます。排泥鑄込みと型押しで量産可能な雑貨小物を製作します。

■ 到達目標

イメージから作品化完成までのプロセスをたどることができる。土と型の性質を理解することで、造形の広がりを知ることができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	アイディアスケッチ
2	アイディアスケッチ 原型制作
3	原型制作 石膏取り
4	制作
5	素焼き
6	施釉
7	本焼き
8	講評 プレゼンテーション

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	10	50	0	10	30

■ 使用教材・用具

スケッチブック 筆記用具

■ 履修上の注意

汚れてもよい格好が望ましい。

■ 実務経験概要

陶芸家としてのキャリアをベースに指導をしていく。

ジュエリー演習Ⅳ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：1.5 開講期：3期 科略：IP 学年：3年 コマ数：3 企業連携：—
実務経験のある教員による授業科目：○

武田 新

■ 授業内容

1～3年でやってきたことの集大成。周辺知識の強化。

制作プランを確実なものにして、しっかりしたプレゼンテーションが出来るようにする。(オーダー受注)

■ 到達目標

プロのクラフトマンとして自立出来る自信を身につける。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	ジュエリー自由制作
2	ジュエリー自由制作 3期全時間をかけて制作するに値する作品
3	ジュエリー自由制作 (事前にプラン提示)
4	ジュエリー自由制作 (金属作品に限り卒業制作と兼用可)
5	ジュエリー自由制作
6	ジュエリー自由制作
7	ジュエリー自由制作
8	まとめ

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	60	0	10	30

■ 実務経験概要

彫刻・ジュエリー作家。文化財修復・復元の経験もあり、工房ショップを経営。

プロダクト販売Ⅱ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：3期 科略：IP 学年：3年 コマ数：4 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

村上 愛、三島 奈津希

■ 授業内容

チームで協力し、作品を向上させるアイテムの制作。会計資料作成から資金面の流れを学ぶ。販売マナーを学ぶ。

■ 到達目標

役割を経験し、完成度の高い展示会ができるようになる。コミュニケーション能力を高めることができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	写真撮影、販売グッズ制作①、ディスプレイ制作① 取説案提出・名刺案提出・ユニフォーム案提出 パッケージサンプル案提出
2	販売グッズ制作③、ディスプレイ制作③
3	10:30～ 展示販売シミュレーション・作品説明 販売グッズ修正①、ディスプレイ修正①
4	接客指導、販売グッズ修正③、ディスプレイ修正③
5	販売グッズ修正⑤、ディスプレイ修正⑤
6	最終確認、荷造り
7	報告会準備
8	10:30～ 報告会 報告書（会社用、個人用ファイル）提出

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
50	10	30	0	10	0

■ 実務経験概要

店舗ディスプレイ、商品企画のデザインの仕事を13年経験。作家として県内外での展示会やワークショップの出展経験がある。／店舗ディレクターとしての接客、ディスプレイなど8年経験。

プロダクト展示Ⅱ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：3期 科略：IP 学年：3年 コマ数：4 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

村上 愛、秋岡 昌彦

■ 授業内容

プロダクト販売と連動し、展示効果や搬入のことなどを考慮して、ディスプレイの設計・制作をする。

■ 到達目標

グループの中で自分の力を活かす工夫が出来るようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	会計資料作成①（個人用） 販売グッズ制作②、ディスプレイ制作②
2	販売グッズ制作④、ディスプレイ制作④
3	販売グッズ制作⑤、ディスプレイ制作⑤
4	販売グッズ修正②、ディスプレイ修正②
5	販売グッズ修正④、ディスプレイ修正④
6	販売グッズ修正⑥、ディスプレイ修正⑥
7	会計資料作成②（個人用計算、収支報告書） 報告会準備
8	会計資料作成③（伝票書類練習「見積書・納品書・請求書」）

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
50	10	30	0	10	0

■ 履修上の注意

作業を伴う授業内容です。安全に活動できる服装で臨むこと。

■ 実務経験概要

店舗ディスプレイ、商品企画のデザインの仕事を 13 年経験。作家として県内外での展示会やワークショップの出展経験がある。

卒業制作②

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1 開講期：4期 科略：IP 学年：3年 コマ数：4 企業連携：－ 実務経験のある教員による授業科目：○

村上 愛

■ 授業内容

各自の計画したスケジュールに従って制作を進めます。

■ 到達目標

制作過程でのトラブルに柔軟に対応し、最後まで工夫することを忘れず制作に取り組むことができるようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	制作過程報告/計画書提出
2	作品制作
3	作品制作
4	作品制作
5	作品制作
6	作品制作
7	合評会 搬入準備 プレゼン練習

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	0	0	50	50

■ 実務経験概要

店舗ディスプレイ、商品企画のデザインの仕事を 13 年経験。作家として県内外での展示会やワークショップの出展経験がある。

卒業制作③

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1 開講期：4期 科略：IP 学年：3年 コマ数：4 企業連携：－ 実務経験のある教員による授業科目：○

坂田 圭

■ 授業内容

今までに学んだ技術を総合的に反映させた作品制作を行う。
各自の計画したスケジュールに従って制作を進めます。

■ 到達目標

制作過程でのトラブルに柔軟に対応し、最後まで工夫することを忘れず制作に取り組むことができるよう

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	制作過程報告/計画書提出
2	作品制作
3	作品制作
4	作品制作
5	作品制作
6	作品制作
7	合評会 搬入準備 プレゼン練習

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	0	0	50	50

■ 履修上の注意

基本的にこの実習授業中では制作を行い手を動かすこと。考えることはこの授業外で。

■ 実務経験概要

グラフィックデザインや金属小物・アクセサリー製作業で自衛独立し 20 年の活動

卒業制作④

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1 開講期：4期 科略：IP 学年：3年 コマ数：4 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

牧野 雄理

■ 授業内容

各自の計画したスケジュールにしたがって制作を進める。

■ 到達目標

制作過程でのトラブルに柔軟に対応し、最後まで工夫する事を忘れずに制作に取り組む事ができるようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	制作経過報告・計画書提出
2	作品制作①
3	作品制作②
4	作品制作③
5	作品制作④
6	作品制作⑤
7	合評会搬入準備・プレゼン練習

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	0	0	50	50

■ 実務経験概要

造形分野の作家として展示会やワークショップの経験

卒業制作⑤

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1 開講期：4期 科略：IP 学年：3年 コマ数：4 企業連携：－ 実務経験のある教員による授業科目：○

秋岡 昌彦

■ 授業内容

中間報告会での気付きをふまえ、各自で修正、詳細の計画、試作、本制作などをおこなう。

■ 到達目標

自分で取り組むべき課題が明確になり、学生時に制作した代表的作品を作ることができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	本制作
2	本制作
3	本制作
4	本制作
5	本制作
6	本制作
7	制作展に向けての活動

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	0	0	50	50

■ 履修上の注意

他の授業と連動して複数の教員で進行する。

■ 実務経験概要

家具メーカーで製品開発に携る経験を元に授業を実施する。

海外デザインプログラムⅡ

分類：知識・教養科目 形態：講義 単位数：0.5 開講期：2期 科略：IP 学年：2年 コマ数：1 企業連携：
— 実務経験のある教員による授業科目：—

長船 圭二

■ 授業内容

2年次では西洋文化をグループ研究を通じて学びます。様々なジャンルを知ることで、複合的に知識を高めていきます。グループワークを通じてテーマ研究をおこない、グループ発表をおこないます。

■ 到達目標

西洋服装・美術・建築の文化や歴史の基礎知識を習得する。また、滞在地の観光エリアや美術館の知識を身につけ、グループ活動を適切におこなう計画力を養います。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	海外デザインプログラムについて (オリエンテーション)
2	美術館・文化財・生活文化について
3	西洋文化グループ研究.1(グループ別 研究テーマ)
4	西洋文化グループ研究.2(グループ別 研究テーマ)
5	西洋文化グループ研究.3(グループ別 研究テーマ)
6	西洋文化グループ研究.4(グループ別 研究テーマ)
7	西洋文化グループ研究発表会

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
50	50	0	0	0	0

■ 使用教材・用具

ノート PC(インターネットを利用して、情報収集および資料制作をおこないます)

科目名索引

科目名索引

記号／数字

3DCG演習Ⅰ－a	54
3DCG演習Ⅰ－b	33
3DCG演習Ⅱ－a	97
3DCG演習Ⅱ－b	77
CADⅠ	32
CADⅡ	76
CAD入門	23
PC入門	16
コンセプトメイキングⅠ	37
コンセプトメイキングⅡ	78
ジュエリー演習Ⅰ	53
ジュエリー演習Ⅱ	62
ジュエリー演習Ⅲ	96
ジュエリー演習Ⅳ	105
ジュエリー入門	21
スペースデザイン演習Ⅰ	34
スペースデザイン演習Ⅱ	41
スペースデザイン演習Ⅲ	70
スペースデザイン演習Ⅳ	84
スペースデザイン入門	17
セラミック入門	20
ゼミⅠ	36, 55
ゼミⅡ	49, 58
ゼミⅢ	79, 98
ゼミⅣ	92, 101
パースペクティブ①	46
パースペクティブ②	88
ビジネスマナー／インターンシップ	26
プレゼンテーションⅠ	22
プレゼンテーションⅡ	45
プレゼンテーションⅢ	87
プロダクト企画Ⅰ	56
プロダクト企画Ⅱ	99
プロダクト制作Ⅰ	57
プロダクト制作Ⅱ	100
プロダクト展示Ⅰ	64
プロダクト展示Ⅱ	107
プロダクト販売Ⅰ	63
プロダクト販売Ⅱ	106
ベーシックデザイン(クロッキー)	11
ベーシックデザイン(デッサン)	9
ベーシックデザイン(色彩)	10
ベーシックデザイン(立体)	8
ライフデザイン③	35
ライフデザイン④	50
ライフデザイン⑤	80
ライフデザイン⑥	93
ライフデザインⅠ	5
一般構造①	27, 72
一般構造②	39, 82
家具演習Ⅰ	51
家具演習Ⅱ	60
家具演習Ⅲ	94

家具演習Ⅳ	103
家具入門	18
海外デザインプログラムⅠ	15
海外デザインプログラムⅡ	112
海外デザインプログラムⅢ	69
建築計画	42
建築史	40, 83
建築施工	38, 81
建築製図Ⅱ①－a	30
建築製図Ⅱ①－b	31
建築製図Ⅱ②－a	43
建築製図Ⅱ②－b	44
建築製図Ⅲ	75
建築製図Ⅳ	86
構造力学	28, 73
雑貨演習Ⅰ	52
雑貨演習Ⅱ	61
雑貨演習Ⅲ	95
雑貨演習Ⅳ	104
雑貨入門	19
修学基礎	3
情報デザイン検定	25
色彩士検定3級	7
進級制作Ⅰ	24
進級制作Ⅱ①	47, 59
進級制作Ⅱ②	48, 65
進級制作Ⅱ③	66
進級制作Ⅱ④	67
進級制作Ⅱ⑤	68
図法	12
素材加工Ⅰ	13
素材加工Ⅱ	14
卒業制作①	89, 102
卒業制作②	90, 108
卒業制作③	91, 109
卒業制作④	110
卒業制作⑤	111
卒業制作計画	71
店舗設計	29, 74
都市計画	85